

# 社 会 科 教 室

第 1 4 6 号

平成 1 6 年度

香川県小学校教育研究会社会科部会  
香川県小学校社会科教育研究会



## 基礎・基本の確実な「定着」とその「発展」を図る

### さらなる社会科授業の日常化を目指して

今、我が国の社会は、様々な改革が行われ、たいへんな激動期を迎えています。教育界もそのまっただ中で、改革の荒波にほんろうされているといっても過言ではありません。従来、学習指導要領は10年ごとに改訂されてきました。ところが、今回では、新指導要領が全面実施2年目での改訂となりました。このような急激な変化は、教育現場にとまどいを与えることになりますが、早急に取り組まなければならない学校の重要課題となってきました。

今回の改訂の要点は、「内容の範囲や程度等を示す事項は、すべての児童に対して指導するものとする内容の範囲や程度等を示したものであり、学校において特に必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができること。」とされたことです。そして、今回から、学習指導要領の範囲を超える「発展的な内容」を指導することが可能になりました。平成17年度から使用される教科書には、この内容が記述されることになるようです。

社会科においては、すでに「社会科基底单元」が策定され、各学校では、これを基に基礎・基本の確実な定着を図る学習指導が実践に移されています。これが確実に実践されるならば、子どもたちの社会科学習への意欲や興味を引き起こし、幅広い見方や思考が培われ、「社会を見る目」が確実に育つと確信します。そのためにも、今年度も「社会科授業の日常化を目指して」を研究のサブテーマとし、その資的向上を図る必要があります。

香社研の本部提案の中に、今年度の研究課題の視点として、5つあげられております。

課題1 幼・小の接続を図るための幼・小連携活動を考える。

課題2 全教科を通じる基礎・基本の定着と発展の学習の在り方を評価から考える。

課題3 学び方としての思考操作（カード操作、エンカウンター操作、ポートフォリオ操作等）を考える。

課題4 社会科学習における小・中連携を地理・歴史認識で考える。

課題5 地域と学校が一体となる地域カリキュラムを学校評価から考える。

会員の一人ひとりが、課題を十分に認識し、それぞれの学校で実践を通して研究し、それを各都市での定例会で実践交流をすることでさらに深まりのあるものとなることを期待しています。また、小豆社研の総力をあげての夏季研修会と長尾小学校での秋の研究大会においては、さらに実りの多い実践交流となることが期待されます。

本年度も会員皆様方の熱意あふれる授業実践により、社会科教育が一層充実することを期待申し上げて挨拶いたします。

香川県小学校教育研究会社会科部会

香川県小学校社会科教育研究会

会 長 山 崎 敏 和

# 平成15年度事業報告

## 1 定例研究集会

### ○ 6月定例会（三豊）

- ・ 月 日 6月28日
- ・ 場 所 豊浜町立豊浜小学校
- ・ テーマ 個が育ち、生きる社会科学習の創造
- ・ 提案者 片山 浩子（三・二ノ宮小）  
深川 隆（観・観音寺南小）  
3年「高瀬町のようす」
- ・ 司会者 高橋 克佳（三・大野原小）
- ・ 記録者 國土 英二（三・二ノ宮小）
- ・ 指導者 福岡 和信 先生

### ○ 7月定例会（小豆、さぬき・東かがわ）

- ・ 月 日 7月5日
- ・ 場 所 香川大学教育学部附属高松小学校
- ・ テーマ 基礎・基本の定着と発展を図る学習の展開
- ・ 提案者 藤原佐代美（小・四海小）  
5年「日本の水産業」  
高田 宏隆（東・福栄小）  
4年「ごみのしまつと利用」
- ・ 司会者 樋本 清和（小・大鐸小）
- ・ 指導者 池田 孝徳 先生（高・前田小）

### ○ 9月定例会（坂出・綾歌）

- ・ 月 日 9月27日
- ・ 場 所 坂出市立東部小学校
- ・ テーマ 「わかる喜び」を実感できる社会科学習  
～基礎・基本の定着と問題解決能力の育成を通して～
- ・ 提案者 真鍋 長嗣（坂・東部小）  
大西 浩史（坂・川津小）  
4年「水はどこから」
- ・ 司会者 白川 豊浩（坂・中央小）
- ・ 指導者 川中 祥照 先生

### ○ 10月定例会（高松）

- ・ 月 日 10月18日
- ・ 場 所 香川大学教育学部附属高松小学校
- ・ テーマ 「社会科」基礎・基本の定着と発展を図る  
～日々の授業実践の充実を目指して～
- ・ 提案者 大橋けい子（高・太田小）  
6年「明治維新をつくりあげた人々」
- ・ 司会者 福家 親夫（高・築地小）
- ・ 記録者 岡田 陽一（高・屋島西小）
- ・ 指導者 池田 理恵 先生

### ○ 11月定例会（丸亀・仲善）

- ・ 月 日 11月15日
- ・ 場 所 丸亀市民体育館
- ・ テーマ <丸亀>自分づくりの社会科学習  
～公民的な資質を支える基礎・基本の定着と自ら学ぶ問題解決的学習の展開～

- ＜仲善＞学び合いから、広い視野を育成する社会科
- ・ 提案者 北分 英樹（丸・本島小）  
増井 泰弘（丸・城辰小）  
4年「昔のくらし」  
山内 秀則（仲・榎井小）  
5年「わたしたちの食料生産」～獲る漁業から育てる漁業～
  - ・ 司会者 多田 明広（丸・城南小）
  - ・ 指導者 雁木 弘之 先生
- 1月定例会（木田・香川）
- ・ 月 日 1月17日
  - ・ 場 所 牟礼町立牟礼南小学校
  - ・ テーマ 社会科の基礎・基本をふまえ、子どもが主体的に創る社会科学習
  - ・ 提案者 黒島 利佳（木・牟礼南小）  
3年「買い物探検団に指令『店の秘密をリサーチせよ』」  
上田 美恵（香・香南小）  
3年「お店のひみつをさぐろう」
  - ・ 司会者 泉 聡 （木・牟礼北小）
  - ・ 記録者 筒井みゆき（木・牟礼北小）
  - ・ 指導者 森 正彦 先生（香・塩江小）

## 2 夏季研修会

- ・ 月 日 7月25日
- ・ 場 所 香川県立坂出・宇多津圏域健康生きがい中核施設（ユープラザ宇多津）
- ・ 内 容 研究主題提案，分科会，講演
- ・ 提案者 青木 弥生（綾・国分寺北部小）  
3年「ぼくたちふるさと探検隊 校区のひみつ発見！」  
宮武 克明（綾・羽床上小）  
4年「ごみでつながる町と人」  
林 聖士（綾・岡田小）  
5年「米づくりから日本の食料生産を見つめ直そう」  
大高 浩一（綾・国分寺南部小）  
6年「3人の武将と全国統一」
- ・ 指導・講評 香川県教育委員会事務局義務教育課 主任指導主事 川中 祥照 先生
- ・ 講 演 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安野 功 先生

## 3 研究委員会

- ・ 月 日 2月28日
- ・ 場 所 香川大学教育学部附属高松小学校

## 4 評価規準編集会 教材・指導法研修会（香川県教育委員会研究団体等委託事業）

- ・ 7月12日，8月23日，10月4日，11月8日，12月13日

## 5 「小三教育技術」執筆・編集委員会

- ・ 4月～12月 毎月1回

## 6 社会科・学習開発委員会

- ・ 11月9日，12月6日，1月31日，3月7日



## 平成16年度本部役員組織

### 本部役員

|     | 氏 名   | 学 校 名    | 〒 学校所在地                | 学校電話         |
|-----|-------|----------|------------------------|--------------|
| 会 長 | 山崎 敏和 | 綾・国分寺北部小 | 769-0101 綾歌郡国分寺町新居1880 | 087-874-1154 |
| 副会長 | 関根 建一 | 高・二番丁小   | 760-0020 高松市錦町二丁目14-1  | 087-851-3741 |
|     | 八木 育夫 | さ・長尾小    | 769-2301 さぬき市長尾東901-1  | 0879-52-3181 |
|     | 佐藤 正文 | 小・四海小    | 761-4131 小豆郡土庄町伊喜末381  | 0879-64-5051 |
| 幹 事 | 西谷 則一 | 三・財田上小   | 769-0401 三豊郡財田町財田上726  | 0875-67-2005 |
|     | 金山 達夫 | 丸・城坤小    | 763-0051 丸亀市今津町348     | 0877-24-4705 |
| 会 計 | 植松 勝  | 高・松島小    | 760-0068 高松市松島町二丁目14-5 | 087-861-4503 |
| 監 査 | 山下 清明 | 仲・満濃南小   | 766-0023 仲多度郡満濃町大字吉野74 | 0877-79-2110 |

### 顧 問

|        |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| (歴代会長) | 杉岡 茂  | 神原 萬吉 | 岩倉 良行 | 糸川 達  |
|        | 東原 岩男 | 柳 清茂  | 池内 博  | 岡野 啓  |
|        | 亀山 信夫 | 川田 豊弘 | 亀井 達男 | 岡田 弘治 |
|        | 曾根 照正 | 中田 清  | 上川 敦生 | 丸野 忠義 |
|        | 古市 聖治 | 大西 孝典 |       |       |

|       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 常任指導者 | 池内 博  | 岡田 弘治 | 曾根 照正 | 古市 聖治 |
|       | 大西 孝典 |       |       |       |

|     |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 事務局 | 旅田 敏弘 | 合田 雅気 | 岡本 英孝 | 寺嶋 俊秀 |
|     | 亀井 健男 | 佐柳 仁  | 小西 寛  |       |
|     | 稲田 耕一 | 市原 茂幹 | 安倍 幸則 | 蘆原 秀稔 |
|     | 葛西 秀樹 |       |       |       |

香社研連絡網



# 平成16年度組織と運営について

|     |                  |
|-----|------------------|
| 会 長 | 山崎 敏和 (綾・国分寺北部小) |
| 副会長 | 関根 建一 (高・二番丁小)   |
| "   | 八木 建夫 (さ・長尾小)    |
| "   | 佐藤 正文 (小・四海小)    |
| 幹 事 | 西谷 達夫 (三・財田上小)   |
| 監 査 | 金山 達夫 (丸・城坤小)    |
|     | 植松 勝 (高・松島小)     |
|     | 山下 清明 (仲・満濃南小)   |

| 郡 市 理 事 |               |             |              |
|---------|---------------|-------------|--------------|
| (高松)    | 関根 建一 (二番丁小)  | 池田 孝徳 (太田小) | 徳田 仁司 (亀阜小)  |
| (丸亀)    | 稲田 耕一 (仏生山小)  | 合田 吉宏 (城東小) |              |
| (坂出)    | 金山 達夫 (城坤小)   | 吉田 和弘 (東部小) |              |
| (小豆)    | 野村 一夫 (林田小)   | 亀井 伸治 (池田小) | 川井 慶太 (土庄小)  |
| (さ・)    | 佐藤 正文 (四海小)   | 三井 重彰 (相生小) | 廣瀬 強 (富田小)   |
| 東かがわ)   | 八木 育夫 (長尾小)   |             |              |
| (木田)    | 沖 肅二 (長尾小)    | 陶山 真司 (小養小) | 森口 英樹 (平井小)  |
| (香川)    | 藤原 政志 (平井小)   | 藤本 一郎 (大野小) | 田岡 直樹 (川東小)  |
| (綾歌)    | 鴨井 俊徳 (直島小)   | 有岡 俊文 (滝宮小) |              |
| (仲善)    | 松下 繁美 (富熊小)   | 森井 信一 (四條小) | 森 昭二 (善・東部小) |
| (三観)    | 山下 清明 (満濃南小)  | 前田 高次 (大見小) | 高橋 克巳 (大野原小) |
|         | 西谷 則一 (財田上小)  |             |              |
|         | 萬亀 弘吉 (観音寺東小) |             |              |

| 顧問(歴代会長) |          |         |  |
|----------|----------|---------|--|
| 杉岡 茂先生   | 神原 萬吉先生  | 岩倉 良行先生 |  |
| 糸川 達先生   | 岩 啓先生    | 柳 信夫先生  |  |
| 池内 博先生   | 東岡野 達男先生 | 亀山 弘治先生 |  |
| 川根 豊弘先生  | 亀井 達清先生  | 岡田 敦生先生 |  |
| 曾根 照正先生  | 中市 聖治先生  | 上川 孝典先生 |  |
| 丸野 忠義先生  | 古市 聖治先生  | 大西 孝典先生 |  |

| 常任指導者   |         |  |  |
|---------|---------|--|--|
| 池内 博先生  | 岡田 弘治先生 |  |  |
| 曾根 照正先生 | 古市 聖治先生 |  |  |
| 大西 孝典先生 |         |  |  |

| 事 務 局 |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 旅田 敏弘 | 合田 雅気 | 健男    | 佐柳 仁  |
| 岡本 英孝 | 寺嶋 俊秀 | 亀井 健男 | 小西 寛  |
| 稲田 耕一 | 市原 茂幹 | 安倍 幸則 | 蘆原 秀稔 |

|                |              |
|----------------|--------------|
| 教科代表 代表者 岡本 英孝 |              |
| ○香社研運営全般       | ○県教委、香小研との連絡 |
| ・調整 ○総会        | ○定例会         |
| ○研究会(夏季、研究会)   |              |

|                     |               |
|---------------------|---------------|
| 研究部 部長 寺嶋 俊秀        |               |
| ○研究主題の研究            | ○研究図書等の執筆     |
| ○他機関(四国, 他県, 文部科学省) |               |
| ○定例会                | ○研究会(夏季, 研究会) |

| 内容研修<br>(中堅教員、指導的立場)                                                                                                | 学習指導法研修<br>(若年教員、研究的・指導的立場)                                                                                                         | 研修・研究大会運営                                                                                                                                                                                                                                                                    | 社会科研究会情報発信                                                                              | 教育課題研修<br>(中堅教員、指導・経営的立場)                                                                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>研修活動①</b><br>「社会科の基礎編集委員会」<br>○社会科授業における評価法の一つとして、社会科の基礎及びテストの改訂・編集を行い、基礎・基本の定着の強化を図っていく。<br>研修担当 岡本 英孝 佐柳 仁     | <b>研修活動③</b><br>「学習開発委員会」<br>○県内各学校での日常的な社会科授業の充実のために具体的な単元展開案、教材等を作成し、各学校に配布し、実践の強化を図る。<br>○実践記録を募集し、全国に情報発信する。<br>研修担当 亀井 健男 小西 寛 | <b>研修活動④</b><br>「定例研修会」<br>○毎月1回、各都市持ち回りによる研修会を行う。<br>○香社研研究テーマを共通基盤とし、その中で各都市の特色ある研究と実践提案を行い、互いの意見交流の場とする。<br>○参加人数を確保するように努める。<br><b>研修活動⑤</b><br>「夏季研修会及び香小研大会」<br>○夏季研修会及び香小研大会に向けて各都市による研究実践を深め、実践交流を行う。<br>○大会運営に向けて、運営等での共通理解を図る。<br>研修担当 岡本 英孝 寺嶋 俊秀 亀井 健男 佐柳 仁 小西 寛 | 「香社研だよりの発行」<br>○県・市・町教育委員会及び各学校に、定期的に研修活動等の情報発信を行う。<br>研修担当 岡本 英孝 寺嶋 俊秀 亀井 健男 佐柳 仁 小西 寛 | 「教育課題研修会」<br>○社会科学学習を通して、学校運営面からの研修として、年間10回程度、長期休業中を中心に集中的に行う。<br>研修担当 岡本 英孝 亀井 健男 佐柳 仁 |
| <b>研修活動②</b><br>「社会科基礎・指導計画作成委員会」<br>○評価規準表をもとに、指導と評価の統一を図る研究を行う。<br>○発展と補充の指導計画を作成し、発信できるようにする。<br>研修担当 寺嶋 俊秀 小西 寛 |                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                         |                                                                                          |

郡 市 理 事 名 簿

| 郵便番号     | 郡 市     | 町 名     | 校 名       | ○ | 理 事 名   | 勤 電 話        |
|----------|---------|---------|-----------|---|---------|--------------|
| 760-0020 | 高 松 市   | 錦 町     | 二 番 丁 小   |   | 関 根 建 一 | 087-851-3741 |
| 761-8071 | "       | 伏 石 町   | 太 田 小     |   | 池 田 孝 徳 | 087-865-4433 |
| 760-0006 | "       | 亀 岡 町   | 亀 阜 小     |   | 徳 田 仁 司 | 087-861-2013 |
| 761-8078 | "       | 仏生山町    | 仏 生 山 小   | ○ | 稲 田 耕 一 | 087-889-0549 |
| 763-0051 | 丸 亀 市   | 今 津 町   | 城 坤 小     |   | 金 山 達 夫 | 0877-24-4705 |
| 763-0081 | "       | 土 器 町   | 城 東 小     | ○ | 合 田 吉 宏 | 0877-24-4703 |
| 762-0012 | 坂 出 市   | 林 田 町   | 林 田 小     |   | 野 村 一 夫 | 0877-47-0270 |
| 762-0007 | "       | 室 町     | 東 部 小     | ○ | 吉 田 和 弘 | 0877-46-0234 |
| 761-4131 | 小 豆 郡   | 土 庄 町   | 四 海 小     |   | 佐 藤 正 文 | 0879-64-5051 |
| 761-4301 | "       | 池 田 町   | 池 田 小     |   | 亀 井 伸 治 | 0879-75-2222 |
| 761-4106 | "       | 土 庄 町   | 土 庄 小     | ○ | 川 井 慶 太 | 0879-62-0068 |
| 769-2301 | さ ぬ き 市 |         | 長 尾 小     |   | 八 木 育 夫 | 0879-52-3181 |
| 769-2903 | 東かがわ市   |         | 相 生 小     |   | 三 井 重 彰 | 0879-33-3627 |
| 761-0901 | さ ぬ き 市 | 大 川 町   | 富 田 小     |   | 廣 瀬 強   | 0879-43-2016 |
| 769-2301 | "       |         | 長 尾 小     | ○ | 沖 肅 二   | 0879-52-3181 |
| 761-0702 | 木 田 郡   | 三 木 町   | 平 井 小     |   | 藤 原 政 志 | 087-898-0713 |
| 761-0615 | "       | "       | 小 蓑 小     |   | 陶 山 真 司 | 087-899-1023 |
| 761-0702 | "       | "       | 平 井 小     | ○ | 森 口 英 樹 | 087-898-0713 |
| 761-3110 | 香 川 郡   | 直 島 町   | 直 島 小     |   | 鴨 井 俊 徳 | 087-892-3007 |
| 761-1701 | "       | 香 川 町   | 大 野 小     |   | 藤 本 一 郎 | 087-885-2165 |
| 761-1706 | "       | 香 川 町   | 川 東 小     | ○ | 田 岡 直 樹 | 087-879-2012 |
| 761-2407 | 綾 歌 郡   | 綾 歌 町   | 富 熊 小     |   | 松 下 繁 美 | 0877-86-2010 |
| 761-2305 | "       | 綾 南 町   | 滝 宮 小     | ○ | 有 岡 俊 文 | 087-876-1183 |
| 766-0023 | 仲 多 度 郡 | 満 濃 町   | 満 濃 南 小   |   | 山 下 清 明 | 0877-79-2110 |
| 766-0021 | "       | "       | 四 条 小     |   | 森 井 信 一 | 0877-73-5514 |
| 765-0022 | 善 通 寺 市 | 稲 木 町   | 東 部 小     | ○ | 森 昭 二   | 0877-62-0703 |
| 769-0401 | 三 豊 郡   | 財 田 町   | 財 田 上 小   |   | 西 谷 則 一 | 0875-67-2005 |
| 767-0031 | "       | 三 野 町   | 大 見 小     |   | 前 田 高 次 | 0875-72-5402 |
| 769-1611 | "       | 大野原町    | 大 野 原 小   | ○ | 高 橋 克 佳 | 0875-54-2029 |
| 768-0060 | 観 音 寺 市 | 観 音 寺 町 | 観 音 寺 東 小 |   | 萬 亀 弘 吉 | 0875-25-2219 |

# 平成16年度年間研修計画

研修会の詳しい日程等につきましては、事前に連絡網を使ってご連絡します。

| 月  | 理事会<br>総会等                                 | 内容研修                                                       |                                            | 学習指導法<br>研修                                 | 研修会・研究大会                                  |                                                              |                                                                                                                          | 研究成果<br>発信                                         | 教育課題<br>研修 |
|----|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------------------------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------|
|    |                                            | 社会科の基礎<br>編集委員会                                            | 社会科基礎<br>指導計画<br>作成委員会                     | 学習開発<br>委員会                                 | 定例研修会<br>研究委員会                            | 夏季研修会<br>(小豆)                                                | 香小研大会<br>(長尾小)                                                                                                           |                                                    |            |
| 4  |                                            |                                                            |                                            |                                             |                                           |                                                              |                                                                                                                          |                                                    |            |
| 5  | 8(土)<br>理事会<br>総会<br>歓迎会<br>(銀星旅館)<br>(高松) | 8(土)<br>各郡市執筆・<br>編集分担任<br>変更があれ<br>ば、各郡市で<br>調整各郡市<br>で執筆 | 30(日)<br>第1回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(分担任)  | 30(日)<br>第1回学習<br>開発委員会<br>(2学期分<br>担任)     |                                           | 27(木)<br>研究授業<br>(4年)                                        | 12(水)<br>研究授業<br>(6年)<br>19(水)<br>研究授業<br>(4年)<br>21(金)<br>研究授業<br>(2年)                                                  | 社会科教室<br>第146号<br>(総会特集)<br>香社研だよ<br>り5月号<br>(事務局) |            |
| 6  |                                            | 26(土)<br>平成16年度<br>3学期社会<br>科基礎編集<br>(第1回)                 | 20(日)<br>第2回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(原稿提出) | 20(日)<br>第2回学習<br>開発委員会<br>(元原案検<br>討)      | 19(土)<br>木・香<br>(高松)                      | 12(土)<br>分科会提<br>案者・司<br>会者                                  | 9(水)<br>研究授業<br>(3年)<br>17(金)<br>研究授業<br>(1年)<br>23(水)<br>研究授業<br>(5年)<br>第1回全<br>体分科<br>会提案<br>前研修<br>会(長尾<br>小と調<br>整) | 香社研だよ<br>り6月号<br>(事務局)                             |            |
| 7  |                                            | ( )<br>平成16年度<br>3学期社会<br>科基礎編集<br>(第2回)<br>原稿提出           |                                            | ( )<br>第3回学習<br>開発委員会<br>(単元本<br>案製送)       | 3(土)<br>三・観<br>(坂出)<br>※終了後、<br>夏季研<br>討会 | 19(月)<br>大会要項<br>製本・送<br>28(水)<br>会場準備<br>29(木)<br>夏季研修<br>会 | ( )<br>第2回事<br>前研修<br>会(司<br>会者・<br>協力<br>者等)                                                                            | 香社研だよ<br>り7月号<br>(事務局)                             |            |
| 8  |                                            | ( )<br>平成17年度<br>社会科基<br>礎編集打<br>合わせ                       |                                            |                                             |                                           |                                                              | ( )<br>第3回事<br>前研修<br>会(司<br>会者・<br>協力<br>者等)                                                                            |                                                    | 集中講座       |
| 9  |                                            |                                                            | ( )<br>第3回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(原稿提出)   |                                             | 25(土)<br>坂・綾<br>(坂出)                      |                                                              | ( )<br>第4回事<br>前研修<br>会(司<br>会者・<br>協力<br>者等)                                                                            | 香社研だよ<br>り9月号<br>(事務局)                             |            |
| 10 |                                            |                                                            | ( )<br>第4回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(原稿提出)   | ( )<br>第1回学習<br>開発委員会<br>(3学期<br>分担任)       |                                           |                                                              | 8(金)<br>大会要項<br>原稿入稿                                                                                                     | 香社研だよ<br>り10月号<br>(事務局)                            |            |
| 11 |                                            | ( )<br>平成17年度<br>1学期社会<br>科基礎編集<br>(第1回)                   |                                            | ( )<br>第2回学習<br>開発委員会<br>(3学期<br>元原案検<br>討) | 27(土)<br>高松<br>(高松)                       |                                                              | ( )<br>第5回事<br>前研修<br>会(全<br>体研<br>修会)<br>12(金)<br>香小研<br>大会                                                             | 香社研だよ<br>り11月号<br>(事務局)                            |            |
| 12 | 4(土)<br>理事会<br>年末反省<br>会(銀星<br>旅館)<br>(高松) | ( )<br>平成17年度<br>1学期社会<br>科基礎編集<br>(第2回)<br>原稿提出           |                                            | ( )<br>第3回学習<br>開発委員会<br>(単元本<br>案製送)       |                                           |                                                              |                                                                                                                          | 香社研だよ<br>り12月号<br>(事務局)                            | 集中講座       |
| 1  |                                            |                                                            | ( )<br>第5回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(原稿提出)   |                                             | 22(土)<br>丸・仲<br>(坂出)                      |                                                              |                                                                                                                          | 香社研だよ<br>り1月号<br>(事務局)                             |            |
| 2  |                                            |                                                            | ( )<br>第6回社会<br>科指導計画<br>作成委員会<br>(原稿提出)   |                                             | 19(土)<br>研究委員会<br>(ブルース<br>カイ坂出)<br>(坂出)  |                                                              |                                                                                                                          | 香社研だよ<br>り2月号<br>(事務局)                             |            |
| 3  | 26(土)<br>事務局会<br>(高松)                      |                                                            |                                            |                                             |                                           |                                                              |                                                                                                                          | 香社研だよ<br>り3月号<br>(事務局)                             |            |



## 平成16年度 研究課題及び内容について

### 研究主題

基礎・基本の確実な「定着」とその「発展」を図る社会科学習の展開  
—自ら学び、考え深める社会科学習の日常化を目指して—

### I 研究主題について

完全学校週5日制と新学習指導要領の実施3年目を迎えるに当たり、研究主題「基礎・基本の確実な定着とその発展を図る社会科学習の展開～自ら学び、考え深める社会科学習の日常化を目指して～」を設定し研究主題を追究することにより、新しい時代に対応した学校を創っていくことを目指したい。

今年度は、夏季研修会が香小研小豆支部で予定され、平成16年度香小研大会がさぬき市立長尾小学校を会場校として行われる予定である。これらの大会に向けて県内各郡市の研究と実践を積み重ね、各学校における社会科授業の充実を図るためだけでなく、特色ある学校運営にも寄与できる研究体制を整えていきたい。

### II 課題

では、まず新しい時代に対応した学校づくりの方向について、また授業改善を図っていくための視点として、現在の学校教育が抱えている5つの課題について考察する。

#### 課題1 子供の自己実現を目指す目標でよいか

学習指導要領でねらいとするところの「生きる力」は、「確かな学力」と「豊かな心」の両輪で育てられるものであるが、特に最近の学校現場では、学力低下問題から「確かな学力」をどう育てるかのみに比重がかかり、そのバランスがくずれているところに大きな問題があるのではないだろうか。

そこで、今年度の研究の柱の一つとして「確かな学力」とともに「豊かな心」を育てるための授業改善に取り組んでいきたい。

個の自己実現を目指すことは大切なことである。ただし、その自己実現は、個の立場からの自己実現というのではなく、常に社会とのかかわりの中で自己実現を果たすこと、また国際社会の中での責任ある日本人として生き、日本の社会を発展させていくための国家・社会の形成者の一員としての自己実現という要素を考えることが大切である。つまり、自分の能力や時間を他人や地域、社会のために役立てようとする自発的な活動を推進できるような方向での自己実現を考えることが大切である。

また、高度産業情報社会の中で、大学や企業等の様々な分野から学校教育に対する要望として挙げられているのは、従来までのような記憶や暗記中心の知識ではなく、「もの・ひと・情報」の国際化が一層進展する中で、実社会に役に立つ知識をもって、これからの日本の社会を支えるための「人材」づくりに寄与できるような教育の在り方である。

つまり、社会に役立つ人材を育成するための自己実現を図る教育への転換が求められているともいえよう。学校教育の学びの中で、実社会とのつながりをどう意識づけるのか、また産業社会の中で学校の果たすべき役割・責任をどう考えればよいのかについて考えていきたい。

#### 課題2 学力を高めることを「測りやすい力」に片寄ってとらえていないか

学力を構造としてとらえると、学力には、『学んだ力（学んだ結果得られる力）』と『学習力』があり、学力向上運動の中で、『学んだ力』としての「測りやすい力（漢字・計算、限られた知識・技能等）」のみに目が向いている学校が多いのではないだろうか。確かな学力には、『学んだ力』として、上記のような「測りやすい力」と、思考力や表現力等といった「測りにくい力」があり、また、『学習力』としての学習意欲や学習計画力、操作力などがあり、これらはペーパーテストでは測りにくい力の一つである。

学力構造を考える上で、このような「測りにくい力」をどのように「確かな学力」として育てていくかが大きな課題といえよう。

### 課題3 「定着」と「発展」の学習は、少人数指導でよいのか

主として「定着」の学習においては、少人数指導がよく取り入れられている。その際に、少人数指導という指導方法や形態ばかりに目が向き、学習集団を少人数に分ける際の「習熟度の見極め」についての研究がおろそかになっているのではないだろうか。教師及び子供自身が、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」といった4観点のどの観点から習熟度を見極め、学習コースを選択したり、自らの習熟度に応じて弾力的にコース変更ができるといった少人数指導の工夫・改善が求められている。

また授業づくりには、「確かな学力」と「豊かな心」が一体として働くことが必要不可欠であり、そのためには、日頃からの支持的な風土のある学級づくりが求められる。少人数指導を進める上で、その根底にある学級づくりについて考えることが大切であろう。

また、今後益々重視されてくるであろう子供の個性を生かす教育は「発展」の学習を大切にしていることでもある。そのためには、「定着」の学習における習熟度の評価が必要ではないだろうか。子供自身が自らの学習の習熟度を評価し、学習すべき方向を見定めるための自己評価力をどのように育てていくのかを実践的に研究していきたい。

### 課題4 学校経営及び運営は、従来のままでよいのか

地域運営学校が提唱され、様々な形態の学校が実現されようとしている現在、旧態依然とした従来の学校の経営では対応しきれなくなっていることを教員自身が自覚する必要があるのではないだろうか。その校の教育課題をどのように設定し、その教育課題解決に向けて、どう組織を創っていくのか、校長だけでなく、まさに一人一人の教員の経営力が問われている時代になったといえる。

### 課題5 地域学校として、幼・小・中の接続が十分ではないのではないのか

これからの学校が目指す方向は、地域社会に深く根ざし、変化する時代に応じながら保護者や地域社会の人と共に教育の責任を負っていく存在になることである。教育について互いに責任を分担・共有する関係をつくること、保護者や地域の人自身に学校を構成する一員として貢献できる体制を整えることが求められているというよう。また、小学校1年生期における学校生活への適応の問題、中学校1年生期における不登校等の問題が取り上げられ、こうしたことから子供の発達を踏まえ、幼・小・中の学びの内容、学び方の接続が問われている。

上記の点から考えると、同一地域にある幼稚園・保育所、小学校、中学校の連携をどのように図っていくかが大きな課題になっているといえる。

## Ⅲ 課題解決に向けて

上記に挙げた学校改革に向けての5つの課題を踏まえ、社会科を核にした「特色ある学校づくり」を進めるにあたっての要点について述べる。

### 課題1 子供の自己実現を目指す目標でよいのか

1 これからの子供に求められる資質・能力 ～世界の中で生きる日本人として必要な基礎・基本～

現在の日本のような経済的・物質的に恵まれた環境の中で、子供たちは学ぶことの意義が見いだせていないのではないだろうか。子供たちの生活は、経済的にもそれほど困っている状況でなく、家庭やまちには楽しいことが氾濫し、インターネット、テレビの情報番組等からの知的刺激が多く、しんどい、苦しいことから逃避し享乐的な時間を過ごすようになっている。

では、これからの新しい時代を創る子供たちにとってどんな資質・能力が求められているのだろうか。今、様々な方面から様々な提言がなされている。大学からは、最低限の基礎的・基本的な内容や論理的な思考力などが求められ、企業からは、実践的で創造的な問題解決能力や集団で意見を交えながら仕事を遂行するためのコミュニケーション能力の育成を図って欲しいという要請もある。さらに、社会を創っていく市民としては、現代社会がかかえる諸問題への関心をもち、家庭・地域社会での役割意識や規範意識をもった人間として育てて欲しいという願いがあるのも確かである。

このように学校教育に対する様々な要請のもと、経済的に豊かになり、大人の価値観も多様化した時代だからこそ、豊かな時代にふさわしい「学力観（確かな学力・豊かな心）」「学習観」を再構築

していくことが求められているのではないだろうか。

従来までの学校では、知識を伝え、その定着度を見るためにテストをして、社会に送り出すことを大切にしてきた経緯がある。しかし、社会全体の中での学校教育の役割を考えたとき、教育本来の目的である「自己実現」のためという目標ではなく、専門的な知識をもち、世界をリードできる日本人として育てるという教育の方向が重視されるようになることは明らかであろう。そのための教材の在り方とは、また基礎・基本の内容とは何か、について研究していくことが大切である。

## 2 「学力観」「学習観」の再構築

「ゆとり」の中で「生きる力」をはぐくむという学習指導要領の本来の趣旨が「子供の勉強を少しでも楽にしよう」という緩みや「時間的な余裕の中で反復や繰り返しのドリル学習等によって定着を図ろう」というように誤解されてとらえられているのではないだろうか。ドリルによる習熟は、もちろん必要なことではあるが、ドリルの時間が教科の授業の大半を占めるようになっては教科指導は成り立たなくなる。このような誤った解釈のもとでは、子供たちの「生きる力」をはぐくむことにはつながらないと思う。

また「ゆとり教育」への批判の流れの中で、学習指導方法の改善として他教科では少人数指導や習熟度別学習が注目され、それがあたかも基礎学力重視の象徴のようになっているが、決してそうではないことに留意する必要もある。

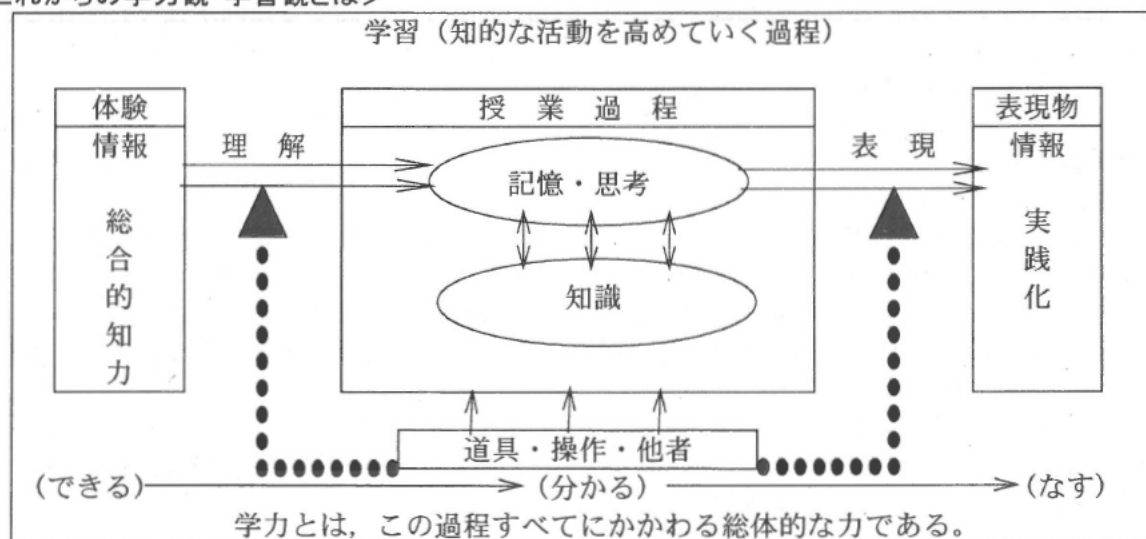
「確かな学力」は、知識や技能はもちろん、学ぶ意欲や思考力等までを含めたものであり、それを学習指導の中で「関心・意欲・態度」「技能・表現」「思考・判断」「知識・理解」という4観点から形成的に評価することが大切なことである。一斉画一的な指導や反復練習だけをしていては、本当の意味での評価にはつながらないことは明白である。

新しい教育課程が「ゆとりの中で生きる力をはぐくむ」という趣旨とそれを具体化するためのカリキュラムを打ち出しているのは、こうした現れと見ることができる。

これからの学校教育、とりわけ社会科授業を核に他教科・他領域を含めた学習指導の工夫・改善として、この学習指導要領のねらう本来の趣旨に立ち返り「自ら学び、考え深める社会科学習の日常化」という視点を大切にしたい研究を進めていきたい。

これから求められる学力観・学習観については、下記の図の通りである。

<これからの学力観・学習観とは>



| 入力（できる）                                                                    | 情報処理（分かる）                                                                             | 出力（なす）                                                                 |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 単に社会科だけでなく、全教科・領域での体験をもとにした「総合的知力」を育成できるようにするための情報が不可欠である。この単元を貫く情報を明確にする。 | 情報は、既有知識を使って理解され、他の知識としっかり関連づけられることによって、記憶が確かになる。その際に、外的な情報源としての道具・操作・他者という存在が不可欠である。 | 思考は表現を通して顕在化する。表現力をつけることは、思考力を高めることにつながる。相手に分かりやすい表現（アサーション）の習熟が大切である。 |

## 課題2 学力を高めることを「測りやすい力」に片寄ってとらえていないか

### 1 「測りにくい学力」とは

最近の低学力論争に応じる形で行われている学力向上の課題について考察することとする。現在、多くの学校で行われている学力向上のための方法としては「反復・練習プリント」「少人数」「習熟度」という指導方法を組み合わせた学習指導の工夫・改善が行われている。しかし、このような指導法の工夫をすれば学力が高まるのかについて多少の疑問が残る。そこで、改めて学力とは何かに立ち返ることが大切ではないだろうか。

いわゆる学力には、「知識・理解（内容知）」と「学習力（方法知）」「人間知」があり、その中でも「測りやすい力」と「測りにくい力」があるのではないだろうかと考えるのである。

「内容知」における「測りやすい力」とは、歴史的な事実とか分数の計算等、学んだ結果身に付く知識や技能であり、これはペーパーテスト等で測りやすい。教科では、このような基礎・基本の事項の理解の上に立って、その教科の大系からの思考を可能にする。基礎・基本の事項が理解されていなければ、基礎・基本の内容の定着は図られないのは確かであるが、復習やドリル等の練習学習のみでは、決して考える力を伸ばせるとはいえない。

|                | 測りやすい力                       | 測りにくい力                                    |
|----------------|------------------------------|-------------------------------------------|
| 知 識<br>(内容知)   | 漢字・計算等<br>基礎・基本の事項(社会<br>用語) | 基礎・基本の内容<br>表 現                           |
| 学 習 力<br>(方法知) |                              | ポートフォリオ<br>グループ・エンカウン<br>ター<br>ポスターセッション等 |

一方「測りにくい力」としては、その子ならではの「基礎・基本の内容」が挙げられる。これは、その子の学習過程での発言や表現物から、その子の思考の流れを読み取り確実に「定着」しているかどうかを見取るわけであるから、テスト等では簡単には測れないものであろう。また「方法知（学習力）」については、まさに「測りやすい力」というものはないのは明らだろう。学習力には、論述力、討論力、論理的思考力、問題を追究したり解決したりする力などがあるが、それ自体、数値化が難しいためである。まさにポートフォリオやグループエンカウンター、ポスターセッション等を体験していく過程で、教師の適切な指導のもとに身に付いていく力であろう。

今の学習指導では、測りやすい学力を数値化して、どの程度到達できたかを見取り、少人数指導等の指導法の工夫・改善により、学力の向上をめざすという一面的な取り組みが盛んに行われている。

つまり「測りやすい学力」としての知識や技能の習熟度によって評価する傾向が強く打ち出されている。しかし、学力には上記のように「測りにくい学力」があり、そうした力をはぐくむことが「生きる力」を育てるためには必要なことである。

また、認知心理学からも、ものごとを記憶したり、応用したりするときには、反復・繰り返し練習ではなく、情報を構造化して取り入れることが決定的に重要であるともいわれている。その点からも、思考操作を大切に授業展開を考えたい。

これからの社会科授業では、自ら主体的に調べ、調べたことを効果的に表現し、表現と思考の連続によって社会的事象の本質について考え、深めていく力を育てていくことを大切に授業づくりが望まれている。だからこそ、単元構想の段階においては、教材と学習材をどのように開発すればよいのか。また、1単位時間の学習においては、思考操作によってどのように思考と表現の重層化を図っていくのかが、重要な鍵となるだろう。

今年度の研究として「生きる力」を育てるためには、こうした「測りにくい学力」をどのように評価していくのか、またこうした力を身に付けるために思考操作の重層化等、学習指導過程の工夫・改善をどうすればよいのかについて研究課題としたい。

### 2 「測りにくい学力」をどう評価するか

「測りにくい力」を見取るための手だてとしては、子供の表現から見取る方法がある。前述したように、表現は、その子の思考の跡でもある。子供一人一人がどう表現しているのか、また表現したことを互いに交流しさらに表現を加えていくといった活動を通して、教師は一人一人の表現を記録し、蓄積して、その子の変容を見取っていくことが大切なことではないだろうか。

こうした表現の重層化を図るためには、思考操作を積極的に取り入れていくことが大切になる。

思考操作の重層化の過程としては、次のような過程が考えられる。

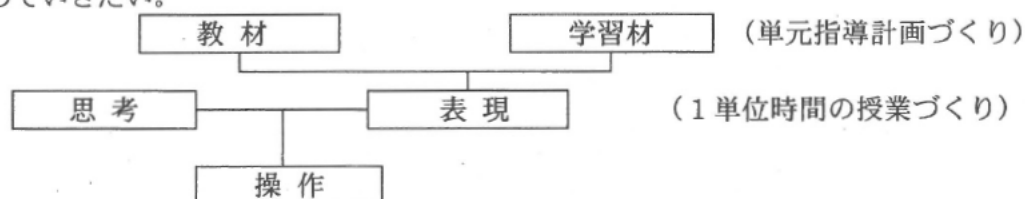
まず、それまでにためてきた課題解決にあたっての情報や自分の気づき、友だちとの交流の跡などを記した表現物（ポートフォリオ）の中から、操作をする学習材を選び出す。そして、1単位時間の授業の中で学習材を一度操作をしたら終わるのでなく、修正を繰り返して、より確かな認識へと高め、操作の重層化を図っていく。この修正された操作の跡（表現の変容）が、自分の伸びを見つめる際に大変重要となる。

さらに、操作活動の状況を友だちと交流することによって、事象についてのそれぞれの見方の違いに気付くようにする過程がある。このような相互交流は、多様なものの見方を育てる上でも、友だちとともに、そのよさに学びながら伸びていこうとするためにも、大切にしたい活動である。

こうした表現と思考操作の繰り返しを経て、子供自身も自らの伸びに気づき、さらに伸ばしていこうとする意欲をもったり、また自分の弱さにも気づき、それを改善していこうとするなどの自己評価力を高め、次の学習の目標値を決定する際の大切な観点にもつながってくる。

これから社会科授業では、自ら主体的に調べ、調べたことを効果的に表現し、表現と思考の重層化によって社会的事象の本質について考え、深めていく力を育てていくことを目指したい。

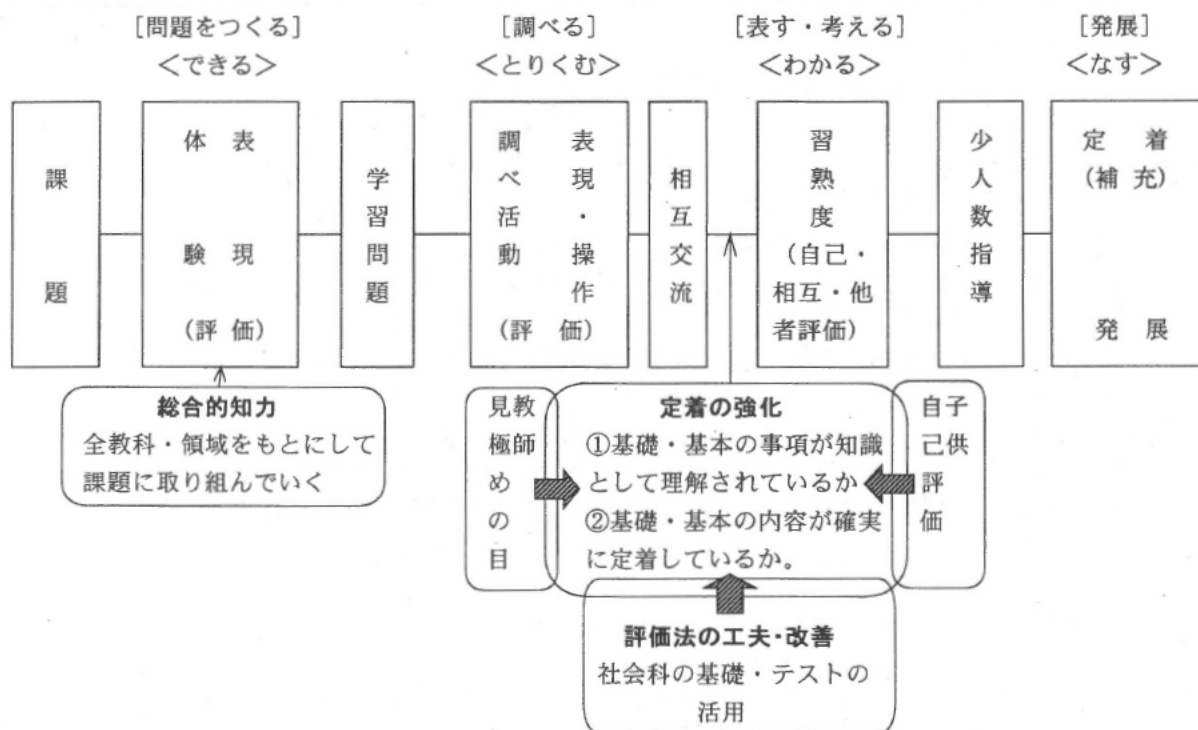
つまり、単元化の段階においては、教材と学習材をどのように開発すればよいのか。また、1単位時間の学習においては、思考操作によってどのように思考と表現の重層化を図っていくのかについて研究を進めていきたい。



### 課題3 「定着」と「発展」の学習は、少人数指導でよいか

先の課題に挙げたように、学力を片寄った見方によるとらえて授業を展開すると、子供の健全な成長に悪影響を及ぼすことになる。では、次に「確かな学力」と「豊かな心」を育てていくための授業改善の視点について述べることにする。

#### 1 学習指導過程の工夫・改善 ～「できる」から「分かる」そして「なす」過程～



#### (1) 「できる」から「分かる」そして「なす」過程

まず、基礎・基本の確実な「定着」を図るために、学習指導過程を工夫することを挙げたい。



「自分の体を使った（できる）」ことから課題を設定し、表現・思考の連続を経て、基礎・基本を確実に身に付ける「学び（分かる）」ことにつなぐ過程を大切にする。自分が疑問に思ったこと、楽しかったことなど感じたことを次の学習活動につないでいくのである。

そして「できる」から「分かる」という学習過程の中で「基礎・基本の内容」の定着を図っていく。その上で「なす」過程において、習熟の状況などを見ながら「基礎・基本の定着」が図られている子供には、課題選択や課題設定などによって地域や家庭へ学びを広げ、深めていく発展的な学習の場を保障する。しかし、「基礎・基本の定着」が不十分な子供には、その時間の中でのつまずきの解消を図る場（補充的な学習）を設定したり、単元のいくつかのしめくりに時間をとって行う「補充的な学習」や放課後を利用した「補充的な学習」などを行ったりすることが考えられる。

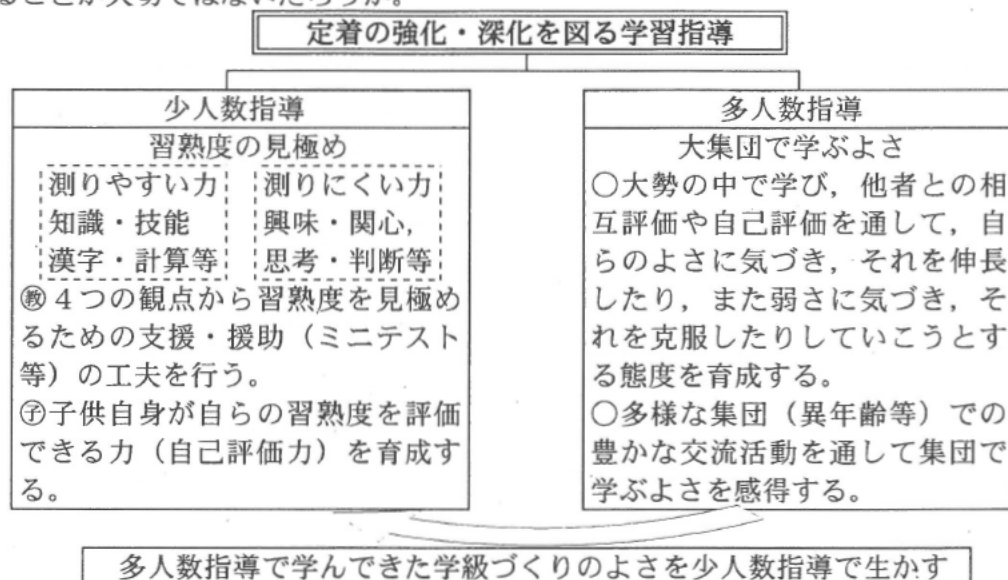
## (2) 知の総合化を図る ～他教科・他領域を含めた知的活動～

「知の総合化・実践化」について考えていきたい。社会科学は、社会科学の学問を基盤にして成り立っている。しかし、社会科学の学問だけで、社会科の内容をみることはできない。社会科は、社会科学と自然科学と、また、社会科学と人間科学と一体になって内容を形成しているといえる。どんな場合も、社会生活を形成する上で、自然科学的な見方や人間としての生き方を学ぶ人間科学的な見方と合わせて、社会科の内容はつくられている。そう考えると、国語も算数も理科も、それぞれの学問の学習が小学校教育ではなく、常に社会人としての生き方、社会科学学習が基本にあり、発展にあることが理解される。そういう意味から学校づくりの自主・自律を求める場合、社会科学学習の指導計画が、その校の柱にならなければならないと考えられよう。

それは、知識・理解だけではなく、社会を観る技能、社会を観るための表現、社会を観る人間味、社会を観る体づくりにもかかわりをもつものであると考える。それだけに、社会科学学習で培った力は、総合的学習や学校生活、地域生活における「知の総合化」の柱となり、知の実践化の原動力になると考える。また、今後学校2学期制の実施に合わせて、学校の全教育活動の見直し・再編が求められている。これまでのように教科・道徳・特別活動・総合的学習といった領域ごとにばらばらに年間計画を立案していたものを、行事と学習を関連させ、また行事同士の連続性をいかに図っていくか、教育課程編成能力が求められるといえよう。その際に、全教科・領域をもとにして課題に取り組んでいくための「できる（体験・表現活動）」を大切にしていきたい。

## (3) 「定着の強化」を図る

「定着の強化」を図る学習のタイプとしては、次のように少人数指導と従来までの多人数指導が考えられる。それぞれの学習のタイプとも互いによさがあり、それぞれのよさを生かした学習集団を編成することが大切ではないだろうか。



少人数を生かすとは、一人一人に対応した授業をどこまで進めるかにかかっているとみえる。一人一人の学習スタイルに応じて指導のやり方を変えたり、一人一人の習熟の度合いをチェックし、学習の進むべき方向を見定め、定着できていない子には復習を試みたり、さらに一人一人毎に課題を選択・設定できるようにする。また、子供とじっくり対話して、課題意識を明確にし、曖昧だった理解を確かなものにしていく等という指導法の工夫・改善が大切な点であろう。



そして、どちらのタイプの学習においても重視すべき点がある。

### ① 「指導と評価の一体化」を図る

一人一人の教師が、今日の前にいる基礎・基本の事項の理解が不十分な子供、もう少しで目標を達成できようとしている子供、また基礎・基本の内容の定着が図られている子供等、それぞれの子供に応じてどのように援助していくのか、さらに余裕をもってできている子供に対してどのように学習を発展させるのか等、子供一人一人の習熟の程度をどのように評価し、次の学習につなげていくのか、まさに「指導と評価の一体化」を具体化させられるような指導法の工夫・改善が求められているのである。

### ② ポートフォリオの活用

また、情報は、既有知識を使って理解され、自らの知識体系の中に取り込まれて、真に「定着」することになる。その上からも、ポートフォリオの活用は不可欠になってくるだろう。

ポートフォリオとは、単にしまってある情報をそのまま引き出してくるものではなく、手がかりをもとに保存情報を検索し、それらを意味あるものとして再構成するという能動的な働きをもっているからである。このポートフォリオの活用を図り、子供自身の自らの学びの評価、いわゆる自己評価力をどのように育てていくのかについての実践的研究が求められている。

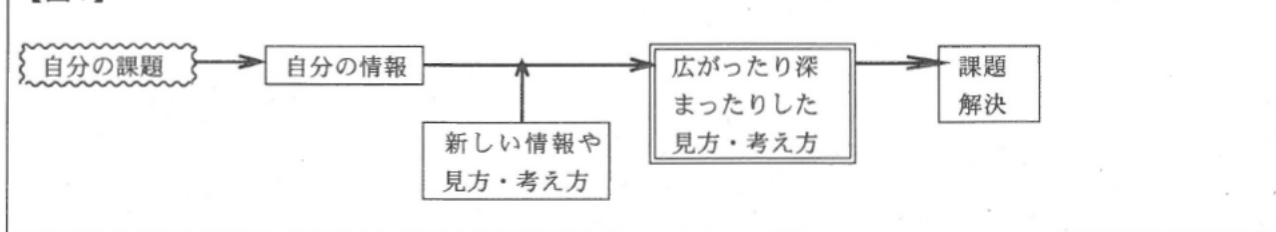
そのためにも、日常的な社会科授業の中で「社会科の基礎・テスト」をどのように活用し、評価に生かしているのかの実践を積み、評価法の研究にもつなげていきたい。

### ③ グループ・エンカウターの活用

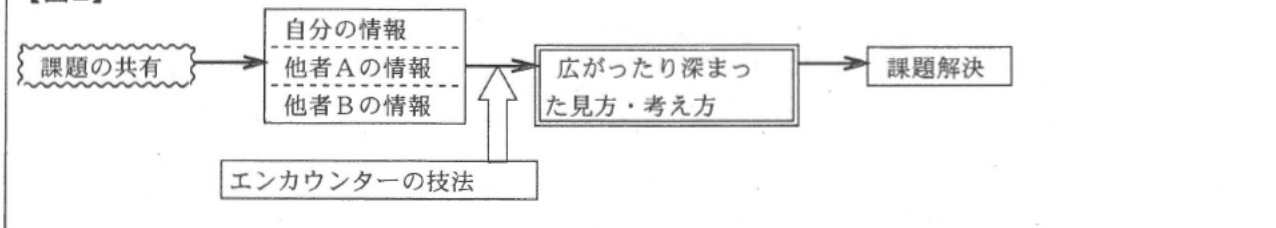
また、従来からとられてきた大集団による多人数指導のもとで、個同士のかかわりあいによる「学び合い」という視点も忘れてはならない。子供たちは「できる」ことから「分かる」活動を通した主体的な学習活動を通して、また子供たちが学習集団の中で互いに自己の知識や技能を出し合いながら協働的に学ぶことを通して、より高次の認識を獲得することができる。そのためには、いわゆる「集団の中で個を育てる」という視点も大切になる。同質の少人数による学習集団での学習だけでなく、集団内における豊かな交流ができるような十分な活動の場と時間の保障が不可欠であり、集団としての発展の中で個の発達が促進されるという考え方に基づいた関係性が求められているのである。

こうしたことから、学習活動における相互交流の在り方としては、従来までよくとられてきたのは、一人一人の課題があって、その解決のために他者との交流を図り、互いに情報交換し、個の学びを深めていくという型である。つまりAが、Bという友達と情報交換して、新たな情報をつくりだしていくという個の課題解決を援助する型（図1）である。こうした形態の授業では、必ずしもそのまま子供たちの活動への参加意欲に結びつかない場合が多く見られる。しかし、今後、個を尊重した集団づくり、個の気づきを重視した集団づくりという側面が重視されることを踏まえると、自由にその子なりの考えや思いを発言し、その違いのよさが認めてもらえるという効力感が保障されるような相互交流が重視されなければならない。他者の集団における交流を通して、他者との学び合いの中で友達のよさに認め合ったり、共有化している課題を解決したりという型（図2）である。こうした集団での話し合いの時には、日頃から安心して自分をむき出せる自己開示の場として学習集団づくりが大切になってくる。

【図1】



【図2】

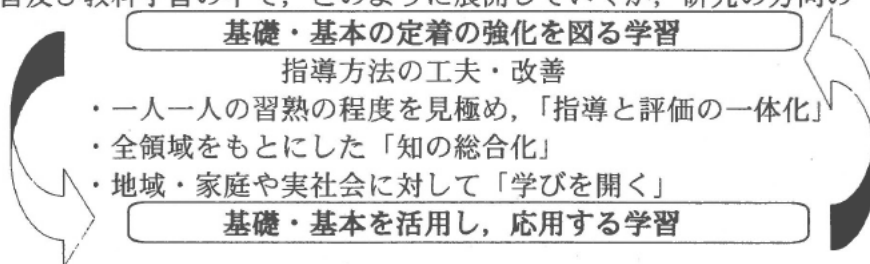


## 2 基礎・基本の「発展」を図る学習

### (1) 総合的学習との関連

次に、総合的学習との関連をより一層密にするということである。これまでの学校教育では、主として「基礎・基本を積み上げる学び」が重視されてきた。しかし、そればかりでは、「一体何のために学んでいるのか」という目的や意義が見えにくいという課題がある。実際にそれらの知識が使えるようになるのは、大学に入ってからとか社会に出てからということになりがちである。特に、学年が進み抽象的な内容が増えるようになるとそれはより大きくなる。すると子供たちの学びは「テストがあるから仕方なく」「将来役に立つだろうから」ということになりざるを得ない。そこで、目的的な行動（やりたいことがある）の過程で、必要感をもって基礎・基本を学ぶという「基礎・基本を活用・応用していく学び」を導入していく必要がある。まさに、総合的学習のねらいにつながるものである。つまり、知識を使って活動する場、あるいは活動している過程で知識が必要なことが分かって基礎に戻ってくるという場を多くもつことである。

これまでの学校では、こうした時間が十分に保障されていなかったし「実社会との関連」という視点からの授業内容の構成も弱かったのではないかと。今後、基礎・基本を活用し、応用する学習をどう総合的学習及び教科学習の中で、どのように展開していくか、研究の方向の一つとしたい。

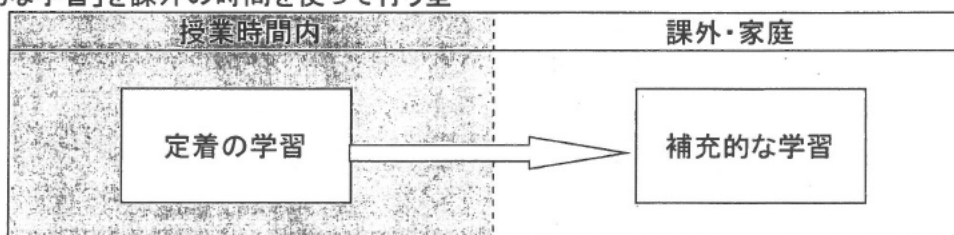


### (2) 「発展的な学習」及び「補充的な学習」の基本となる学習類型

「発展的な学習」というのは、基礎・基本から離れてトピック的なものを扱うのではなく、あくまでも基礎・基本を身に付けている子供たちが自らの能力、適性、興味・関心等に応じて基礎・基本を広げたり、深めたり、進めたりするものである。「発展的な学習」というのは、基礎・基本が定着した子供たちに行うものであるから、あくまでも個性的な面を重視した学習である。

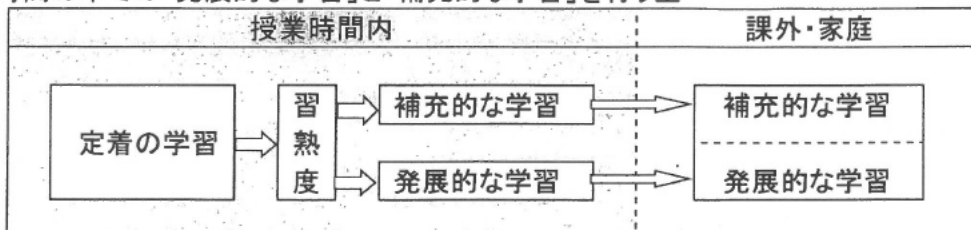
一方「補充的な学習」は、子供の理解や習熟の程度状況等に応じ、基礎・基本の確実な定着を図るために行う指導であり、すべての子供が基礎・基本を確実に身につけることができるようにするための個別化への対応である。こうした面から考えると、社会科において「発展的な学習」と「補充的な学習」をどのように展開すればよいかについて、以下のような類型が考えられるのではないだろうか。

#### ① 「補充的な学習」を課外の時間を使って行う型



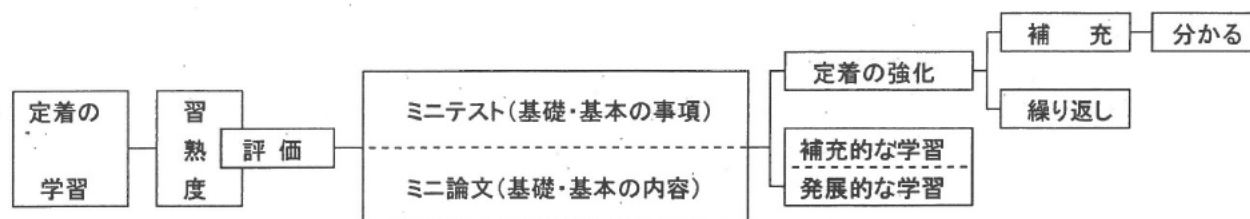
授業時間内で、個別に定着を図ってもなお「つまずき」の見られる児童に対しての補充的な学習を、課外の時間（業間・放課後・長期休業日等）を使って行う。そのために、単元指導計画段階で課外や家庭学習をどのように学習に組み入れるか、今後の実践研究の積み重ねをもとに各校の年間指導計画の工夫が望まれる。特にこの型は、2学期制の導入に向けて一層重視される考え方である。

#### ② 一単位時間の中での「発展的な学習」と「補充的な学習」を行う型



一単位時間の中で、習熟度によってコース選択を行う。その際には、教師がコースを決定するのではなく、子供自身の自己評価や教師からの他者評価をもとに決定することが大切である。

この過程について、以下詳しく述べる。



(できる)

(分かる)

(なす)

→ (一単位時間の弾力的な運用を図る。30分、45分、60分、90分等) →

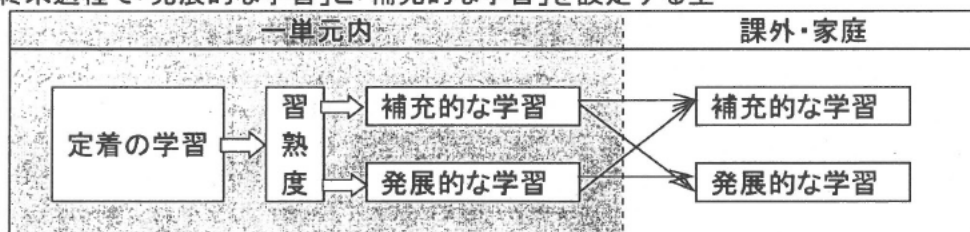
「定着」の学習の過程で、自己・他者評価等によって習熟度に分かれて学習を進めていく際に、一人一人の子供が今、どの程度の分かり方をしているのかが教師や子供自身にとって明確になっていないのではないだろうかという点が挙げられる。

評価を行う際に、基礎・基本の事項及び内容がどの程度身に付いているかが分からないと、その子の学びの状況に合った学習が展開できない。「なんとなく○コースに進む」とか、「○○さんがいるからそのコースにいく」といった学習になる危険性がある。

つまり、授業時間の中で形成的評価をどのように行うかが、大切なポイントの一つとなろう。

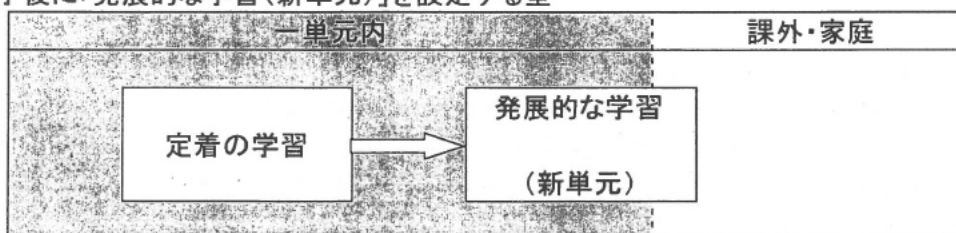
そこで、1 単位時間の授業時間の中で、基礎・基本の事項や内容がどの程度身に付いているかを「社会科の基礎」の活用を図ったり、机間巡視によって個別に援助したり、これまでの学習をもとにミニ論文で表現したりするなどして、それぞれの子供自身が自らの「習熟の度合い」を見取ったり、教師がその子の状況を把握するといった支援・援助の工夫が必要になるだろう。

### ③ 単元の終末過程で「発展的な学習」と「補充的な学習」を設定する型



特に、社会科や理科などでみられる型である。子供の課題意識の発展を保障する時間を単元指導計画内で設定し、その子の学びの発展を見取り援助する。その発展として、課外や家庭学習との接続を考える。

### ④ 単元終了後に「発展的な学習(新単元)」を設定する型



一単元終了後、その子の課題意識を深めたり、広げたりできるような新単元を設定する。

総合的な知力の育成を図ることが求められていることから考えて、社会科だけでなく、国語や理科等他教科との関連を図りながら新単元を構想する。また、その後、夏季・冬季休業期間等を使って自由研究的に課題解決を図ることも考えられる。

以上4つの類型を挙げてきたが、今後年間計画及び一単元の中で、また一単位時間の中でどのように実現していくかを研究の柱の一つとしたい。

## 課題4 経営と運営は、従来のままでよいのか

### 1 学校評価と教員評価

学校評価とは、教育内容・方法に関する評価と運営に関する評価とがある。それとともに学校評価を行う上で重要な評価が、教員評価である。

ところで、「学校評価」については「自校の学校教育目標の達成度という観点に立って、計画的・

組織的な教育が行われているかを明らかにして、その結果に基づき改善を図ることを目的とした評価である」として定義されている場合が多い。このことは、平成12年12月の教課審答申にある教育課程の実施状況としての評価の観点としても挙げられている。

- ア 教育課程の編成状況
- イ 教育課程の実施状況
- ウ 教育課程の指導方法や指導体制の工夫・改善の状況
- エ 児童生徒の学習状況、等

と解説されていることと同じで、教育内容方法についての「評価の観点」といえる。その上で、学校評価はこの教育内容・方法の面だけでなく、運営に関する面も大切にされなければならない。学校運営についての「評価の観点」を例示すると次の通りである。

- ア 人的・物的諸条件の整備
- イ 開かれた地域学習環境の設計、
- ウ 教職員の少人数による指導・チームの能力開発
- エ 危機管理に関する対応
- オ 教育情報の公開と開示
- カ 地域住民の教育参画プラン、等

この観点によって、評価項目を策定することができると思われる。

次に、学校評価にとって欠かすことのできないことが「教員評価」である。教員の資質の向上にとって、スクールリーダーの果たす役割は大きい。

教員評価は、結果の評価ではなく、向上の証しを教員自身が自己評価することに意義がある。そのためにも、教員の活動の場を開く教育目標達成の仕組みを改善しなければならない。教育目標達成のための仕組みは、計画（P）→実践（D）→評価（S）の過程を経るとされ、スクールリーダーの計画のもと実践を評価する体制が教育界では常識となっている。しかし、これではこの変革の時代の教員に対応した新しい観点に立った教育開発ができず、教員の自主性・自律性に基づく特色ある学校づくりはできない。どうしても、今の時代は計画（P）→実践（D）→評価（S）の一本道ではなく、まず実践（D）・評価（S）がはじめにある。とにかく、問題を見つけ感じて部分的なことをグループに分かれて実践（D）、評価（S）を重ねる。その上で大きな計画（P）をつくり実践する。計画（P）を優先し、スクールリーダーを中心に計画（P）を練り、指導し、組織し、決定し、それから実践（D）にかかるのでは教員の自己評価の質は上がらない。

教員の力量を高めるためには、まず行動力を重視するところに、新しい教員の道、教員を育てる道があると考え。こうすることによって、教員の自己評価力が高まり、教員の自主的・自律的な活力が促されて意味ある「教員評価」が生まれてくるとと思われる。そこで、教員評価の「自己評価の観点」を例示しておくことにする。

- ア 学習指導の観点（指導内容、指導方法、評価方法等）
- イ 学級づくりの観点（児童理解、学級経営、教育愛、環境整備等）
- ウ 対人関係（協調性、人間関係調整、説明責任、説得力等）
- エ 校務（校務処理、創造的改革力、企画・実践力、諸帳簿・備品整理等）
- オ 服務（勤務状況、社会力、調整力、研修等）

さて、次に学校評価、教員評価の方法についてである。どの評価に当たっても、自己点検・自己評価の推進が言われている。それと同時に、教職員以外の者による外部評価の在り方も問われている。いずれにしても、評価の観点、評価規準、評価方法の在り方について今後早急に究明しなければならない課題である。

## 2 特色あるカリキュラム編成

「学校の特色づくり」をどう進めるかは、ひとえにカリキュラムづくりにかかっているといえよう。学校教育目標は、その校の置かれている地域性やその校の教育研究等の伝統に裏付けられているため、不易な目標として変える必要はない。しかし、学校課題は、その時代その時代に応じた課題として何がふさわしいか、どのように変えていけばよいのかが大切な点であろう。

例えば、次のような課題が考えられる。

- ア 基礎・基本の確実な「定着学習」とその「発展学習」の時間数を確保し、少人数による指導の授業の充実を図る。



イ 質の高いクラブ活動と児童会活動の時間を確保し、学校生活に「ゆとり」をもつ中で、主体性の確立を図る。

ウ 学校行事を原点に立って考え直して、時間を確保し、子供による特色ある学校づくりを図る。

エ 読書、書く、計算の「生活の基礎・基本」の時間を確保し、補充と充実を図る。

オ 英語、情報活用（コンピュータ）の時間を確保し、時代に対応した教育の充実に努める。

カ 人権、環境、健康・安全・体力、情報、文化・芸術など、その校の特色ある教育活動の時間を確保する。

### 3 弾力的な「カリキュラム」編成

弾力的な「カリキュラム」編成については、学習指導要領「総則編」にいくつか見ることができる。一つは、日課表、週時程表の工夫であり、二つには、少人数による指導を充実するよう「定着と発展」の学習の時間運用（指導計画と指導教員の配置）であり、三つには、指導計画の実施状況の把握と対処などである。

#### (1) 日課と週時程の弾力化

日課表と週時程表の弾力化については、まず週時程として1単位時間は通常45分を前提とすることに立って45分と45分を合わせて2時間連続として90分とし、休憩時間を入れて100分としておけば、45分授業としても成り立っていく。また、30分と60分を分別して90分として活用するとか、朝15分と30分に分けて45分1単位時間とするというように、活動の目的や発達段階を考慮して編成することが肝要となる。

#### (2) その校独自の特色ある「指導計画」の編成

少人数による指導とか、総合的学習で校外に出るとか、適切な指導者を招聘するとかなど、その校独自の特色ある「指導計画」を編成すること、そして、それをもとに活動を進めるにあたって指導・援助する教職員、地域の人などの人的な配置も大きな課題となり、綿密な計画が望まれる。ともすると、大まかな計画で実践してきたことが許されてきた過去の状況のままになることなど、必ず「評価」が伴うことを考え、確かな指導計画を立て、運用しなければならない。

#### (3) 指導計画・実践状況の把握 ～カリキュラムセンターの設置～

授業時数が限定され、確実に教育課程を実施するために、指導計画、実践状況の把握に努め、対処する方策を各校とも組織しなければならない。学校の中で、今までは学習の成果を見る資料室、研究室がその校の経営の誇りであったが、これからは、カリキュラムの編成と日々の実践の状況認識がどう組織化されて、評価されているかを誇りとすることになり、学校評議員制度のもと学校信頼の窓口となると思われる。そのカリキュラム編成と実践の状況認識と学校評価が一覧でき、管理・指導できるセンター、すなわち「カリキュラムセンター」が学校運営管理の中心になるものとして重要になってくると考えられる。すなわち、「カリキュラムセンター」のもつ要件としては、

ア センター壁面は、各教科の学年別単元進度表があり週ごとにチェックし次週の計画修正を行う。

イ センターでは、年間行事、月や週行事が壁面にあり、それをもとに各学年で時間を作成し、毎月の日課表を保護者、子供に配布するため準備する。

ウ センターでは、月ごとの日課表に次週の配慮事項を書き込み、学年ごとに協議する。

エ センターで、「生活の基礎・基本」の練習カードや診断表の作成、援助カード、評価カードの整理をする。

オ センターで、毎月、評価カード、援助カードによって児童理解研修を行う。

カ センターで、学習記録の整理を行い、ケースに保管する。

キ 管理職は、「カリキュラムセンター」で教育実践の姿を把握し、経営に生かす。

ク 各活動の単元指導計画表や日課表、週時程表を各担任教室背面に貼りチェックする。

が考えられる。こうしたカリキュラムセンターを早急に設置する必要がある。

### 課題5 地域学校として、幼・小・中の接続が十分ではないのではないか

#### 1 学びを開く ～地域や家庭との連携～

学校での授業時間が縮減され、また家庭学習も十分定着していないとすれば、学力の向上は期待できない。理解の定着のためには、習熟の時間の保障が不可欠だからである。

学校週5日制のもとで、はっきりしていえることは、子供が学校にいる時間が減り、家庭や地域に



いる時間が増えることである。そうすると、家庭や地域で子供が何をどうするかを子供自身や家庭、地域が決定していかざるを得なくなる。その際に、学校にいる時間だけが勉強だという考えから、家庭や地域でも学習ができるし意味があると考えれば、その制度をプラスにできる。

つまり、子供の学習を学校学習に閉じ込めておく（完結型）のではなく、家庭や地域に対して「開かれた学び」にしていく姿勢が、教師自身が指導する上で求められているともいえる。しかし、家庭や地域での学びは、宿題以外には、基本的には子供・家庭・地域の自己選択であり、自己決定であるともいえる。それだけに、宿題の出し方と共に、自主的な学習時間を増やすための創意工夫が望まれている。宿題についていえば、学校学習での学びをもとに「調べる・つくる・考える課題」を宿題という形で子供たちに投げかけるということも必要であろう。このように考えると、今宿題を出すことを遠慮すべきではない。日本の子供の家庭学習の時間の長さは大幅に低下しているからである。ただし、現状の宿題が漢字や計算力向上のためのプリント学習に限定されすぎていることが大きな問題であろうと考える。

自主的な学びについては、保護者や地域の人に協力を求め、地域の人へのインタビュー活動、図書館での情報収集、博物館等での調べ学習等を行い、学校ではそれに基づいて表現や話し合い、友達同士で思考を練り上げる学習も可能になる。

- |                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 学びの連続性を保障すること<br>② つまづきの解消（定着）のための「補充的な学習」の場を保障すること<br>③ 地域や家庭での体験や学習を学校での学習に生かせる場を保障すること |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|

という、いわゆる学習を地域や家庭に対して開いていくことが今後ますます求められる。

## 2 「幼・小・中の連携」の視座にたった社会科カリキュラムづくり

教師は、小学校だけ、幼稚園あるいは中学校だけの完結型で、その校種、校種によって、ゼロから始まり完結しようとする発想をしていないだろうか。小学校以前にも学びがあり、卒業以後も学んでいることをどれだけ視野に入れているだろうか。これが連携の発展の要であろう。

そこで、本研究会では、幼稚園から小学校の接続の在り方を考えるとともに、1・2年生活科と3年社会科における社会認識の系列を明らかにしたいのである。

幼稚園教育と小学校での学習の間には大きな段差があり、そこに小学校入学後の子供の問題行動の原因があるとするならば、5歳児と小学校1年生の子供の成長の発達連続性を大切に教育活動がなされなければならないであろう。そのためにも、社会科においては、幼・小の社会認識の系統を明らかにし、学習指導法の工夫・改善を行いたい。そのためにも、幼稚園と社会科をつなぐ核となる生活科における社会認識の高まりを求めたいと考える。

また中学校1年生期には、小学校教育との段差による不登校等の問題も生じていることから、小学校教育と中学校との連携の在り方も今後の大切な検討課題の一つであろう。

そこで、まず社会認識の系統を明らかにし、小・中のなめらかな接続が図られるような学習内容及び指導法の在り方について研究課題としたい。

## 3 小・中学校における社会認識にかかわる目標及び内容の関連

社会科の学習対象は、人間の行動を含めた社会的事象であり、その社会的事象は、空間的な広がりの中で、時間的系列の中で、具体的なものとして現れ、変容していくものである。これを学習の観点から分類していくと、3分野の内容となる。

- |                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------|
| 社会的事象の地表面に現れた現象＝地理的分野<br>社会的事象の形成過程＝歴史的分野<br>社会に生きる人間をはじめ、組織や機能＝公民的分野 |
|-----------------------------------------------------------------------|

この3分野における小・中の連携を考える際に、社会認識の系列という点から考えていきたい。

地理的分野では、内容と能力の面からとらえ、次の3点を地理的見方・考え方の柱としておく。

### ○ 分布の意識・・・分布的なとらえ方・考え方

「何が」「どこで」の考察で位置や事実の認知の意識

どこに何があるか、場所によってどんな在り方が違うかという観点から、見たり、考えたりすることである。

社会的事象を位置、広がり、場所的相違、方向などからしっかりとらえさせることが大切である。

### ○ 関連の意識・・・関連的なとらえ方・考え方

「どのくらい」「どのように」というように、分布の状態を量的・関係的にとらえることである。

場所によって広がり・事象の在り方の違いに気付き、どうして違うのだろうか、という意識する力が社会を見る力につながる。

#### ○ 地域性の意識・・・地域的なとらえ方

「どうして」「どんな問題が」の考察で、地域の個性の把握の仕方や地域の問題に対する関心や態度をとらえることである。

ある地域の特色を理解するためには、土地の特色を自然、産業、人々の生活などから総合的に把握できるようにすることが大切である。

そのためには、地域内で、または地域間での様々な「比較」が基本となる。地域の特色をより明らかにするためには、どうしても「比較」する力の育成が求められる。

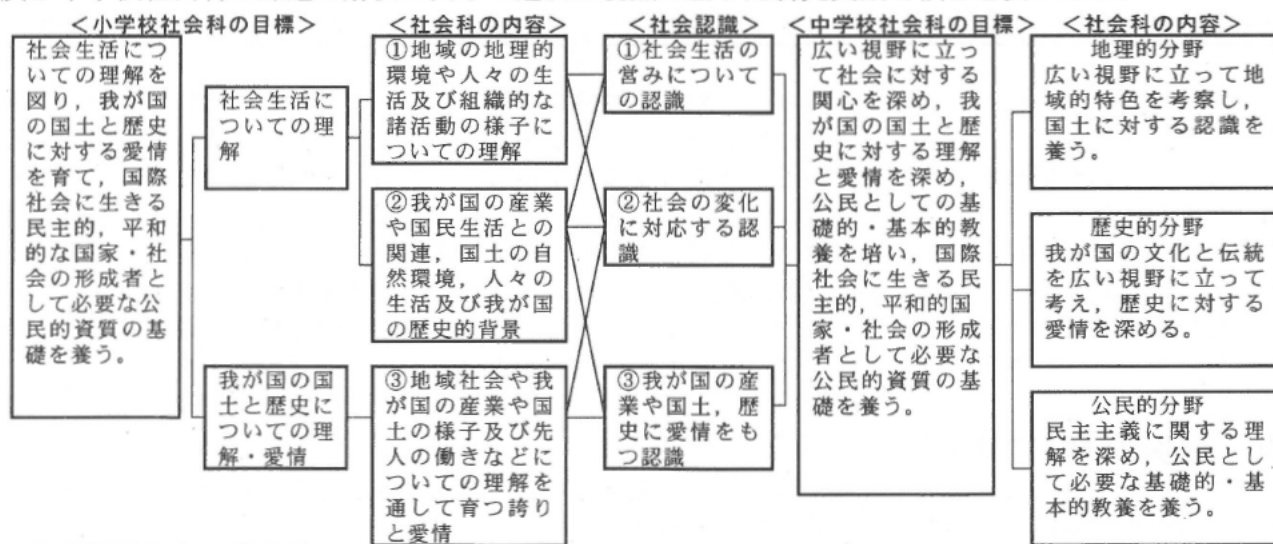
次に、歴史認識においては、「因果」の把握が基本となる。その時代の特色は、前時代からの流れの上においてこそ理解できるものである。

小学校歴史学習は、中学校の歴史学習の薄墨学習ではないかという批判から、串団子方式といわれる「人物・文化遺産」中心の学習が展開されてきた。しかし、課題としては、歴史上の人物についてはエピソード等を含め大変詳しく知っているが、その時代、時代の歴史的な背景については十分に理解できていないこと等が挙げられている。また、その歴史上の人物についても、知っている人物が限られているということがいわれている。

歴史とは、その本質は因果の関係で成り立っている。因果関係が、歴史学習でいう串団子の串にあたるものであり、その基本的な理解がなければ、真にその人物がとった行動を理解することはできないだろう。枝葉末節の雑多な歴史的事象を数多く覚えても、真に歴史を理解したことにはならない。

例えば、源頼朝について学ぶ時には、それまでの平安時代から鎌倉時代へと変化した原因となる「土地所有制」という基本的な内容を学ぶことによって、源頼朝という人物について深く理解することにつながってくるのである。

逆に、中学校においては、雑多な網羅的な歴史的事象についての知識を暗記することに終始しがちになり、楽しく分かるための学習指導の工夫・改善については目が向いていないのが現状ではないだろうか。このように、歴史学習に限らず地理学習や産業学習、政治学習等についても、小学校社会科及び中学校社会科の課題の解決に向けて連携の視点に立った研究実践を積む必要がある。



まず学習内容の重点化について考察したい。

#### 4 幼・小・中の学習内容の系統

幼・小・中の連携・交流は、単なる遊びにするのではない。互いの様子を理解すること、指導すること、学び取ることを体験することである。また活動をふくらませ、豊かにしていくものである。そして、こうした連携・交流の機会を通して、各々の教師が相互の教育の在り方に理解がもてるようになればよいのである。そうした連携・交流を図るためには、カリキュラム・レベルでつながりを付けていくことが大切になってこよう。その学年の以前、または以後の子供が学ぶ内容について知ることから始めたい。そうすることで、教師自身が小学校教育が幼稚園教育からの発展の上に立ち、中学校

教育での学習の基礎となることを自覚し、自らの授業を充実させることにもつながってくるのである。その上に立ち、幼・小及び小・中の9ヶ年のカリキュラム、さらには幼・小・中の12年間のカリキュラムをつくっていくことであろう。このカリキュラムづくりが、今後の研究の大事な視点になる。そこで、今年度、幼・小・中の連携を考える際には、以下のような学習内容の重点化を考えたい。

| 幼稚園                                     | 第1・2学年<br>生活科                                                                                  | 第3学年                                                               | 第4学年                                                                                     | 第5学年                                                                         | 第6学年                                                                                           | 中学校                                |
|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| ○自然認識・社会認識・自己認識の芽生えを育て、日常生活の中心に自己確立を図る。 | ○自然認識とともに、身近な地域における空間の広がり(空間的認識)や生まれてから今に至るまで(時間的認識)の人々のくらしの様子を自分と社会生活(公民的認識)とのつながりで見られるようにする。 | ○私たちの身近な地域の学習から、行政区分(市・県等)への2段階の広がりの中で、人々のくらしの様子について、時間と空間の視点から学ぶ。 | ○日本各地の様々な気候条件、社会条件のある地域の学習を通して空間的な広がりを求める。<br>○それぞれの地域の人々のくらしの様子を地理・歴史を一体としてとらえられるようにする。 | ○我が国の産業(農林水産業、工業、商業等)を概観できるようにし(面の学習)、我が国の産業の特色や世界の中での日本の産業の在り方をとらえられるようにする。 | ○我が国の歴史について概観できるようにし、我が国の政治・経済・文化・生活について、自分とつながりで見られるようにする。<br>○国民の一員として果たすべき役割や責任を自覚できるようにする。 | ○地理・歴史・公民の社会認識を総合的知力として発揮できるようにする。 |

## 5 地域カリキュラムづくり

最後に、こうした社会科授業の前提ともなる「地域カリキュラムづくり」について述べる。これからの学校は、学校週5日制、2学期制のもとでの教育課程について示し、保護者や地域に説明するとともに、各教科の学習や総合的な学習が家庭における学習や調査・研究に発展できるような主体的な学習態度を育てていくことが大切なことではないだろうか。

「学校を開く」ということは、単に学校の施設や設備を開放することではなく、学校・家庭・地域社会(官庁を含む)の三者が一体となって子育ての連携を図っていくという考えから、学校がつくる「カリキュラムを開放する」ことであると考え。また学校は、子供と一緒に学習したり、学校を利用して独自の学習したりできるような、地域の人々にとっても魅力的な学習の場として活用できるように開くことが必要になってくるだろう。これまでのような、知識や技能は学校で身に付けるものだという「学力観」から、学校・家庭・地域社会など子供の生活する場全体を視野に入れた「学力観」へと転換する必要がある。子供たちの学びが、地域の総合学習施設としての学校を中核として、家庭や地域社会での学びも取り込んでいくような指導の在り方が求められているといえよう。

## IV 研究課題について

今まで述べてきたことから、平成16年度の研究課題として、次の課題1から課題5までを挙げ、各郡市での研究実践の方向性を見定めるための視座としたい。

- |     |                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 課題1 | 幼・小の接続の改革を図るための幼・小連携活動を考える。(亀井)                                      |
| 課題2 | 全教科等を通じる基礎・基本の定着と発展の学習の在り方を評価から考える。(寺嶋)<br>(社会の基礎及び社会科テストの活用の在り方を含む) |
| 課題3 | 学び方としての思考操作(カード操作、エンカウンター操作、ポートフォリオ操作等)を考える。<br>(小西)                 |
| 課題4 | 社会科学習における小・中連携を地理・歴史認識で考える。(岡本)                                      |
| 課題5 | 地域と学校が一体となる地域カリキュラムを学校評価から考える。(佐柳)                                   |

こうした香社研としての研究課題のもと、平成16年度各郡市の研究の伝統と特色を生かした多様な実践が行われ、夏季研修会、香小研大会での実りある実践交流ができることを願いたい。

# 平成16年度 郡市社研役員名簿

## 【高松市社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所     | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|-------------|--------------|
| 会 長 | 関根 建一 | 校長 | 二番丁小  | 高・錦町2-14-1  | 087-851-3741 |
| 副会長 | 亀山 久嘉 | 校長 | 木太南小  | 高・木太町1530-1 | 087-866-7295 |
|     | 植松 勝  | 校長 | 松島小   | 高・松島町2-14-5 | 087-861-4503 |
|     | 古沢 博美 | 校長 | 仏生山小  | 高・仏生山町甲2461 | 087-889-0549 |
|     | 高橋 英次 | 校長 | 築地小   | 高・築地町14-1   | 087-831-7188 |
| 庶 務 | 稲田 耕一 | 教諭 | 仏生山小  | 高・仏生山町甲2461 | 087-889-0549 |
|     | 葛西 秀樹 | 教諭 | 鶴尾小   | 高・松並町636-1  | 087-867-2564 |
|     | 安倍 幸則 | 教諭 | 松島小   | 高・松島町2-14-5 | 087-861-4503 |
| 研究部 | 市原 茂幹 | 教諭 | 亀阜小   | 高・亀岡町10-1   | 087-861-2013 |
|     | 大橋けい子 | 教諭 | 太田小   | 高・伏石町845-1  | 087-865-4433 |
|     | 檜原 一宏 | 教諭 | 二番丁小  | 高・錦町2-14-1  | 087-851-3741 |
|     | 白川 由美 | 教諭 | 木太南小  | 高・木太町1530-1 | 087-866-7295 |

## 【丸亀市社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所      | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|--------------|--------------|
| 会 長 | 金山 達夫 | 校長 | 城 坤 小 | 丸・今津町348     | 0877-24-4705 |
| 副会長 | 田井 敏之 | 教頭 | 城 東 小 | 丸・土器町西五丁目113 | 0877-24-4703 |
| 庶 務 | 寒川 英樹 | 教諭 | 城 坤 小 | 丸・今津町348     | 0877-24-4705 |
| 研究部 | 山野 正登 | 教諭 | 城 南 小 | 丸・田村町973     | 0877-24-6177 |
|     | 旅田 敏弘 | 教諭 | 垂 水 小 | 丸・垂水町1408    | 0877-28-7551 |
|     | 香川 浩子 | 教諭 | 城 南 小 | 丸・田村町973     | 0877-24-6177 |

## 【坂出市社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所     | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|-------------|--------------|
| 会 長 | 野村 一夫 | 校長 | 林 田 小 | 坂・林田町2191   | 0877-47-0270 |
| 副会長 | 山地 正子 | 教頭 | 王 越 小 | 坂・王越町木沢211  | 0877-42-0104 |
|     | 佐藤 孝治 | 教頭 | 中 央 小 | 坂・寿町3-1-2   | 0877-46-2124 |
| 庶 務 | 吉田 和弘 | 教諭 | 東 部 小 | 坂・室町1-1-21  | 0877-46-0234 |
| 会 計 | 吉田 和弘 | 教諭 | 東 部 小 | 坂・室町1-1-21  | 0877-46-0234 |
|     | 香川 和美 | 教諭 | 府 中 小 | 坂・府中町1193-3 | 0877-48-0610 |
| 研究部 | 大西 浩史 | 教諭 | 川 津 小 | 坂・川津町3093-1 | 0877-46-3884 |
|     | 白川 豊浩 | 教諭 | 中 央 小 | 坂・寿町3-1-2   | 0877-46-2124 |
|     | 田中 秀年 | 教諭 | 松 山 小 | 坂・高屋町1050   | 0877-47-0606 |

## 【小豆郡社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所       | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|---------------|--------------|
| 会 長 | 佐藤 正文 | 校長 | 四 海 小 | 小・土庄町伊喜末381   | 0879-64-5051 |
| 副会長 | 片山 和昭 | 教頭 | 安 田 小 | 小・内海町安田甲472-1 | 0879-82-2012 |
|     | 亀井 伸治 | 教頭 | 池 田 小 | 小・池田町池田1760   | 0879-75-2222 |
| 庶 務 | 川井 慶太 | 教諭 | 土 庄 小 | 小・土庄町甲657-7   | 0879-62-0068 |
| 会 計 | 役重 和雅 | 教諭 | 安 田 小 | 小・内海町安田甲472-1 | 0879-82-2012 |
| 研究部 | 役重 和雅 | 教諭 | 安 田 小 | 小・内海町安田甲472-1 | 0879-82-2012 |
|     | 樋本 清和 | 教諭 | 大 鐸 小 | 小・土庄町肥土山甲1735 | 0879-62-0712 |



【さ・東社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所        | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|----------------|--------------|
| 会 長 | 八木 育夫 | 校長 | 長 尾 小 | さ・長尾東901-1     | 0879-52-3181 |
| 副会長 | 小倉 健治 | 校長 | 小 田 小 | さ・小田1741       | 087-896-0066 |
|     | 熊田 正美 | 校長 | 造 田 小 | さ・造田是弘688-1    | 0879-52-2141 |
|     | 徳田二三男 | 校長 | 志 度 小 | さ・志度727        | 087-894-0041 |
|     | 寺田 文久 | 校長 | 五 名 小 | 東・五名1400       | 0879-29-2003 |
|     | 竹田 具治 | 校長 | 松 尾 小 | さ・大川町田面125     | 0879-43-3016 |
|     | 三井 重彰 | 校長 | 相 生 小 | 東・南野204-1      | 0879-33-3627 |
| 庶 務 | 廣瀬 強  | 教頭 | 富 田 小 | さ・大川町富田西2595-2 | 0879-43-2016 |
|     | 高田 宏隆 | 教諭 | 誉 水 小 | 東・中筋425        | 0879-25-2044 |
|     | 沖 肅二  | 教諭 | 長 尾 小 | さ・長尾東901-1     | 0879-52-3181 |
| 会 計 | 古澤 哲夫 | 教諭 | 松 尾 小 | さ・大川町田面125     | 0879-43-3016 |
| 会 計 | 穴吹 眞二 | 教諭 | 石 田 小 | さ・寒川町石田東425    | 0879-43-2006 |
| 監 査 | 六車 功  | 教諭 | 丹 生 小 | 東・町田126-1      | 0879-25-3504 |
| 研究部 | 廣瀬 強  | 教頭 | 富 田 小 | さ・大川町富田西2595-2 | 0879-43-2016 |
|     | 松村 和仁 | 教諭 | 津 田 小 | さ・津田町津田144     | 0879-42-2047 |
|     | 大高 哲也 | 教諭 | 長 尾 小 | さ・長尾東901-1     | 0879-52-3181 |
|     | 永坂 邦彦 | 教諭 | 長 尾 小 | さ・長尾東901-1     | 0879-52-3181 |
|     | 白澤 一修 | 教諭 | 相 生 小 | 東・南野204-1      | 0879-33-3627 |

【木田郡社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所       | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|---------------|--------------|
| 会 長 | 藤原 政志 | 校長 | 平 井 小 | 木・三木町平木710-1  | 087-898-0713 |
| 副会長 | 陶山 真司 | 教頭 | 小 蓑 小 | 木・三木町小蓑1351-1 | 087-899-1023 |
| 庶 務 | 森口 英樹 | 教諭 | 平 井 小 | 木・三木町平木710-1  | 087-898-0713 |
| 研究部 | 吉原 浩二 | 教諭 | 牟 礼 小 | 木・牟礼町大町1560   | 087-845-9239 |
|     | 高重 淳  | 教諭 | 白 山 小 | 木・三木町下高岡352-1 | 087-898-0257 |

【香川郡社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所        | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|----------------|--------------|
| 会 長 | 鴨井 俊徳 | 校長 | 直 島 小 | 香・直島町1600      | 087-892-3007 |
| 副会長 | 藤本 一郎 | 教頭 | 大 野 小 | 香・香川町大野1045-1  | 087-885-2165 |
| 庶 務 | 田岡 直樹 | 教諭 | 川 東 小 | 香・香川町川東上1865-8 | 087-879-2012 |
| 研究部 | 田岡 直樹 | 教諭 | 川 東 小 | 香・香川町川東上1865-8 | 087-879-2012 |
|     | 川村 千寿 | 教諭 | 浅 野 小 | 香・香川町浅野3088    | 087-889-0215 |
|     | 岡 佳代  | 教諭 | 香 南 小 | 香・香南町横井1008    | 087-879-2269 |
|     | 島村佳寿美 | 教諭 | 直 島 小 | 香・直島町1600      | 087-892-3007 |



【綾歌郡社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校  | 学 校 住 所       | 電 話          |
|-----|-------|----|--------|---------------|--------------|
| 会 長 | 松下 繁美 | 校長 | 富 熊 小  | 綾・綾歌町富熊1227   | 0877-86-2010 |
| 副会長 | 日詰 裕雄 | 校長 | 岡 田 小  | 綾・綾歌町岡田下217   | 0877-86-3004 |
|     | 平井 勉  | 教頭 | 宇多津北小  | 綾・宇多津町浜八番丁115 | 0877-49-2000 |
|     | 田中 直樹 | 教頭 | 国分寺南部小 | 綾・国分寺町福家甲3005 | 087-874-1160 |
| 庶 務 | 有岡 俊文 | 教諭 | 滝 宮 小  | 綾・綾南町滝宮1100   | 087-876-1183 |
| 会 計 | 馬場 直明 | 教諭 | 富 熊 小  | 綾・綾歌町富熊1227   | 0877-86-2010 |
| 研究部 | 宇山 知昌 | 教諭 | 富 熊 小  | 綾・綾歌町富熊1227   | 0877-86-2010 |
|     | 末澤 康彦 | 教諭 | 岡 田 小  | 綾・綾歌町岡田下217   | 0877-86-3004 |

【仲善社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所         | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|-----------------|--------------|
| 会 長 | 山下 清明 | 校長 | 満濃南小  | 仲・満濃町吉野74       | 0877-79-2110 |
| 副会長 | 水卜 由文 | 教頭 | 仲南北小  | 仲・仲南町十郷字宮田750-4 | 0877-75-4032 |
|     | 花房 長広 | 教頭 | 満濃南小  | 仲・満濃町吉野74       | 0877-79-2110 |
| 庶 務 | 森井 信一 | 教諭 | 四 条 小 | 仲・満濃町四條732      | 0877-73-5514 |
|     | 森 昭二  | 教諭 | 善・東部小 | 善・稲木町450-1      | 0877-62-0703 |
| 会 計 | 豊田 恭子 | 教諭 | 善・東部小 | 善・稲木町450-1      | 0877-62-0703 |
| 研究部 | 山内 秀則 | 教諭 | 榎 井 小 | 仲・琴平町榎井58-3     | 0877-73-2494 |
|     | 坂倉 徹  | 教諭 | 多度津小  | 仲・多度津町栄町3-1-9   | 0877-33-1616 |

【三豊社研】

| 役員名 | 氏 名   | 職名 | 勤 務 校 | 学 校 住 所          | 電 話          |
|-----|-------|----|-------|------------------|--------------|
| 会 長 | 西谷 則一 | 校長 | 財田上小  | 三・財田町財田上726      | 0875-67-2005 |
| 副会長 | 各務 清  | 校長 | 観音寺南小 | 観・観音寺町甲1186-2    | 0875-25-4675 |
|     | 前田 高次 | 校長 | 大 見 小 | 三・三野町大字大見甲3034-4 | 0875-72-5402 |
| 庶 務 | 高橋 克佳 | 教諭 | 大野原小  | 三・大野原町大野原1905    | 0875-54-2029 |
|     | 萬亀 弘吉 | 教諭 | 観音寺東小 | 観・観音寺町甲670-2     | 0875-25-2219 |
| 研究部 | 安藤 通  | 教諭 | 観音寺東小 | 観・観音寺町甲670-2     | 0875-25-2219 |
|     | 深川 隆  | 教諭 | 観音寺南小 | 観・観音寺町甲1186-2    | 0875-25-4675 |
|     | 篠原 正議 | 教諭 | 伊 吹 小 | 観・伊吹町309         | 0875-29-2103 |
|     | 秋元 一秀 | 教諭 | 大浜小   | 三・詫間町大浜甲1633-1   | 0875-84-7359 |

# 平成16年度 研修会別名簿

【高松市社研】

|                | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|----------------|-----------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト編集委員 | ① 鶴 尾 小   | 葛 西 秀 樹 | 5 年     |
|                | ② 松 島 小   | 安 倍 幸 則 | 3 年     |
|                | ③ 太 田 小   | 大 橋 けい子 | 4 年     |
|                | ④ 花 園 小   | 高 橋 洋 子 | 少人数     |
| 社会科基底・指導計画作成委員 | ① 屋 島 東 小 | 蘆 原 秀 稔 | 5 年     |
|                | ② 川 島 小   | 寺 島 幹 人 | 5 年     |
| 学習開発委員<br>(執筆) | ① 弦 打 小   | 池 田 茂 樹 | 6 年     |
|                | ② 屋 島 西 小 | 黒 川 浩 一 | 6 年     |
|                | ③ 屋 島 西 小 | 岡 田 陽 一 | 4 年     |
|                | ④ 木 太 南 小 | 白 川 由 美 | 教文研内留   |
| 協力者            | ① 太 田 小   | 池 田 孝 徳 | 教 頭     |
|                | ② 二 番 丁 小 | 川 中 祥 照 | 教 頭     |
| 定例研修会          | ① 仏 生 山 小 | 稲 田 耕 一 | 4 年     |
|                | ② 鶴 尾 小   | 葛 西 秀 樹 | 5 年     |
|                | ③ 松 島 小   | 安 倍 幸 則 | 3 年     |
|                | ④ 亀 阜 小   | 市 原 茂 幹 | 6 年     |

|       |        |        |       |
|-------|--------|--------|-------|
| 定例研修会 | ⑤ 太田小  | 大橋 けい子 | 4 年   |
|       | ⑥ 二番丁小 | 檜原 一 宏 | 4 年   |
|       | ⑦ 木太南小 | 白川 由 美 | 教文研内留 |
|       | ⑧ 弦打小  | 池田 茂 樹 | 6 年   |
|       | ⑨ 三溪小  | 姫田 朋 樹 | 4 年   |
|       | ⑩ 屋島東小 | 蘆原 秀 稔 | 5 年   |

|            |        |        |     |
|------------|--------|--------|-----|
| 教育課題<br>研修 | ① 屋島西小 | 南原 志 伸 | 少人数 |
|            | ② 太田小  | 金崎 美 穂 | 少人数 |
|            | ③ 太田小  | 大橋 けい子 | 4 年 |
|            | ④ 築地小  | 福家 親 夫 | 4 年 |
|            | ⑤ 花園小  | 高橋 洋 子 | 少人数 |
|            | ⑥ 三溪小  | 姫田 朋 樹 | 4 年 |
|            | ⑦ 仏生山小 | 稲田 耕 一 | 4 年 |

【丸亀市社研】

|                    | 学 校 名 | 氏 名    | 担当学年・分掌 |
|--------------------|-------|--------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員 | ① 城北小 | 高木 弘 信 | 3 年     |
|                    | ② 城坤小 | 寒川 英 樹 | 少人数     |

|                        |         |         |      |
|------------------------|---------|---------|------|
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 城 坤 小 | 吉 田 良 三 | 6 年  |
|                        | ② 本 島 小 | 北 分 英 樹 | 学力支援 |
| 学習開発委員                 | ① 城 東 小 | 合 田 吉 宏 | 6 年  |
| 協力者                    | ① 垂 水 小 | 多 田 明 広 | 6 年  |
| 定例研修会                  | ① 城 南 小 | 高 木 京 子 | 専 科  |
|                        | ② 郡 家 小 | 池 内 右 典 | 少人数  |
|                        | ③ 飯 野 小 | 近 石 務   | 6 年  |
|                        | ④ 城 乾 小 | 香 川 久 子 | 6 年  |
|                        | ⑤ 城 西 小 | 山 下 ひとみ | 4 年  |

|            |         |         |      |
|------------|---------|---------|------|
| 教育課題<br>研修 | ① 城 東 小 | 合 田 吉 宏 | 6 年  |
|            | ② 垂 水 小 | 多 田 明 広 | 6 年  |
|            | ③ 本 島 小 | 北 分 英 樹 | 学力支援 |

【坂出市社研】

|                        | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|---------|---------|---------|
| 社会科の基<br>礎・テスト<br>編集委員 | ① 岩 黒 小 | 河 野 富 男 | 複式学級    |
|                        | ② 西 部 小 | 岡 本 敏 英 | 4 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 川 津 小 | 大 西 浩 史 | 3 年     |
|                        | ② 府 中 小 | 福 家 寿 夫 | 6 年     |

|        |         |         |     |
|--------|---------|---------|-----|
| 学習開発委員 | ① 東 部 小 | 真 鍋 長 嗣 | 5 年 |
| 協力者    | ① 東 部 小 | 吉 田 和 弘 | 少人数 |
| 定例研修会  | ① 東 部 小 | 吉 田 和 弘 | 少人数 |
|        | ② 中 央 小 | 白 川 豊 浩 | 障害児 |
|        | ③ 川 津 小 | 大 西 浩 史 | 3 年 |
|        | ④ 松 山 小 | 田 中 秀 年 | 4 年 |
|        | ⑤ 林 田 小 | 池 内 智 哉 | 6 年 |

|            |         |         |     |
|------------|---------|---------|-----|
| 教育課題<br>研修 | ① 東 部 小 | 吉 田 和 弘 | 少人数 |
|            | ② 中 央 小 | 白 川 豊 浩 | 障害児 |
|            | ③ 西 部 小 | 野 村 亮 子 | 障害児 |

【小豆郡社研】

|                        | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|---------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員     | ① 浏 崎 小 | 香 川 英 樹 | 少人数     |
|                        | ② 北 浦 小 | 山 田 泰 二 | 6 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 安 田 小 | 役 重 和 雅 | 教 務     |
|                        | ② 安 田 小 | 瀬 名 宏 樹 | 学力支援    |
| 学習開発委員                 | ① 土 庄 小 | 川 井 慶 太 | 教 務     |
| 協力者                    | ② 池 田 小 | 港 貴 康   | 6 年     |



|       |         |         |     |
|-------|---------|---------|-----|
| 定例研修会 | ① 星 城 小 | 河 田 祥 司 | 6 年 |
|       | ② 四 海 小 | 藤 原 佐代美 | 6 年 |
|       | ③ 苗 羽 小 | 日 下 ゆかり | 5 年 |

【さぬき・東かがわ社研】

|                        | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|---------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員     | ① 富 田 小 | 橋 本 義 人 | 少人数     |
|                        | ② 小 田 小 | 梅 本 明 宏 | 6 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 津 田 小 | 松 村 和 仁 | 5 年     |
|                        | ② 志 度 小 | 野 口 幸 嗣 | 2 年     |
| 学習開発<br>委員<br>(執筆)     | ① 相 生 小 | 白 澤 一 修 | 4 年     |
|                        | ② 松 尾 小 | 古 澤 哲 夫 | 3 年     |
| 協力者                    | ① 富 田 小 | 廣 瀬 強   | 教 頭     |
| 定例研修会                  | ① 長 尾 小 | 沖 肅 二   | 6 年     |
|                        | ② 長 尾 小 | 大 高 哲 也 | 生活支援    |
|                        | ③ 津 田 小 | 松 村 和 仁 | 5 年     |
|                        | ④ 松 尾 小 | 古 澤 哲 夫 | 3 年     |
|                        | ⑤ 相 生 小 | 白 澤 一 修 | 4 年     |
|                        | ⑥ 志 度 小 | 野 口 幸 嗣 | 2 年     |

|       |         |         |      |
|-------|---------|---------|------|
| 定例研修会 | ⑦ 誉 水 小 | 高 田 宏 隆 | 生活支援 |
|-------|---------|---------|------|

|            |         |         |      |
|------------|---------|---------|------|
| 教育課題<br>研修 | ① 誉 水 小 | 高 田 宏 隆 | 生活支援 |
|            | ② 造 田 小 | 窪 田 史 子 | 4 年  |

【木田郡社研】

|                        | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|-----------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員     | ① 氷 上 小   | 間 島 大 輔 | 6 年     |
|                        | ② 庵 治 小   | 佐 々 和 美 | 4 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 平 井 小   | 森 口 英 樹 | 4 年     |
|                        | ② 牟 礼 小   | 吉 原 浩 二 | 3 年     |
| 学習開発委員                 | ① 白 山 小   | 高 重 淳   | 3 年     |
| 協力者                    | ① 小 蓑 小   | 陶 山 真 司 | 教 頭     |
| 定例研修会                  | ① 白 山 小   | 小 笠 原 学 | 5 年     |
|                        | ② 牟 礼 北 小 | 泉 聡     | 5・6年    |

|            |         |         |     |
|------------|---------|---------|-----|
| 教育課題<br>研修 | ① 平 井 小 | 森 口 英 樹 | 4 年 |
|            | ② 小 蓑 小 | 陶 山 真 司 | 教 頭 |

【香川郡社研】

|                        | 学 校 名   | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|---------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員     | ① 香 南 小 | 森 智 子   | 3 年     |
|                        | ② 大 野 小 | 高 尾 優 子 | 4 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 浅 野 小 | 小 原 敏 昭 | 5 年     |
|                        | ② 浅 野 小 | 黒 田 拓 志 | 4 年     |
| 学習開発委員                 | ① 大 野 小 | 黒 川 久美子 | 6 年     |
| 協力者                    | ① 大 野 小 | 藤 本 一 郎 | 教 頭     |
| 定例研修会                  | ① 川 東 小 | 田 岡 直 樹 | 4 年     |
|                        | ② 浅 野 小 | 川 村 千 寿 | 3 年     |
|                        | ③ 直 島 小 | 島 村 佳寿美 | 5 年     |
|                        | ④ 香 南 小 | 岡 佳 代   | 6 年     |
| 教育課題研修                 | ① 川 東 小 | 野 土 裕 彦 | 6 年     |

【綾歌郡社研】

|                    | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|--------------------|-----------|---------|---------|
| 社会科の基礎・テスト<br>編集委員 | ① 岡 田 小   | 林 聖 士   | 6 年     |
|                    | ② 飯 山 南 小 | 出 濱 大 資 | 5 年     |

|                        |           |         |     |
|------------------------|-----------|---------|-----|
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 富 熊 小   | 宇 山 知 昌 | 3 年 |
|                        | ② 岡 田 小   | 末 澤 康 彦 | 5 年 |
| 学習開発委員                 | ① 国分寺北部小  | 高 吉 直 之 | 6 年 |
| 協力者                    | ① 羽 床 上 小 | 宮 武 克 明 | 4 年 |
| 定例研修会                  | ① 滝 宮 小   | 有 岡 俊 文 | 5 年 |
|                        | ② 富 熊 小   | 宇 山 知 昌 | 3 年 |
|                        | ③ 岡 田 小   | 末 澤 康 彦 | 5 年 |
|                        | ④ 岡 田 小   | 徳 永 桂 子 | 4 年 |

|            |         |         |     |
|------------|---------|---------|-----|
| 教育課題<br>研修 | ① 富 熊 小 | 宇 山 知 昌 | 3 年 |
|            | ② 岡 田 小 | 末 澤 康 彦 | 5 年 |
|            | ③ 滝 宮 小 | 有 岡 俊 文 | 5 年 |

【仲善社研】

|                        | 学 校 名     | 氏 名     | 担当学年・分掌 |
|------------------------|-----------|---------|---------|
| 社会科の基<br>礎・テスト<br>編集委員 | ① 仲 南 東 小 | 川 田 真 司 | 6 年     |
|                        | ② 東 部 小   | 森 昭 二   | 6 年     |
| 社会科基底<br>・指導計画<br>作成委員 | ① 四 箇 小   | 坂 倉 徹   | 6 年     |
|                        | ② 四 条 小   | 森 井 信 一 | 5 年     |

|        |        |      |    |
|--------|--------|------|----|
| 学習開発委員 | ① 仲南東小 | 川田真司 | 6年 |
| 協力者    | ① 東部小  | 森昭二  | 6年 |
| 定例研修会  | ① 四条小  | 森井信一 | 5年 |
|        | ② 東部小  | 森昭二  | 6年 |
|        | ③ 四箇小  | 坂倉徹  | 6年 |
|        | ④ 榎井小  | 山内秀則 | 6年 |

【三豊社研】

|                | 学 校 名   | 氏 名  | 担当学年・分掌 |
|----------------|---------|------|---------|
| 社会科の基礎・テスト編集委員 | ① 観音寺東小 | 安藤通  | 4年      |
|                | ② 下高瀬小  | 安藤雅慶 | 5年      |
|                | ③ 二ノ宮小  | 國土英二 | 5年      |
|                | ④ 豊浜小   | 渡部岳史 | 5年      |
| 社会科基底・指導計画作成委員 | ① 観音寺東小 | 萬亀弘吉 | 6年      |
|                | ② 観音寺南小 | 深川隆  | 専科      |
| 学習開発委員<br>(執筆) | ① 伊吹小   | 篠原正議 | 3・4年    |
|                | ② 柞田小   | 轟秀明  | 6年      |
| 協力者            | ① 五郷小   | 安藤清和 | 教頭      |



|       |         |      |      |
|-------|---------|------|------|
| 定例研修会 | ① 大野原小  | 高橋克佳 | 4年   |
|       | ② 観音寺東小 | 安藤通  | 4年   |
|       | ③ 観音寺東小 | 萬亀弘吉 | 6年   |
|       | ④ 観音寺南小 | 合田雅気 | 5年   |
|       | ⑤ 観音寺南小 | 深川隆  | 専科   |
|       | ⑥ 伊吹小   | 篠原正議 | 3・4年 |
|       | ⑦ 二ノ宮小  | 國土英二 | 5年   |
|       | ⑧ 大浜小   | 秋元一秀 | 4年   |

# 平成 1 6 年度 郡市会 員 名 簿

高松市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地   | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|-------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 760-0020 | 錦町 2-14-1   | 二番丁小  | 校長  | 関根 建一   | 087-851-3741 |
| 2  | "        | "           | "     | 教頭  | 川中 祥照   | "            |
| 3  | "        | "           | "     | 4   | 桜原 一宏   | "            |
| 4  | 760-0006 | 亀岡町 10-1    | 亀 阜 小 | 教頭  | 徳田 仁司   | 861-2013     |
| 5  | "        | "           | "     | 6   | 市原 茂幹   | "            |
| 6  | 760-0073 | 栗林町 2-10-7  | 栗 林 小 | 5   | 橋本 康裕   | 861-3438     |
| 7  | "        | "           | "     | 2   | 三木 省二   | "            |
| 8  | 760-0072 | 花園町 2-7-7   | 花 園 小 | 少人数 | 高橋 洋子   | 831-9129     |
| 9  | 760-0068 | 松島町 2-14-5  | 松 島 小 | 校長  | 植松 勝    | 861-4503     |
| 10 | "        | "           | "     | 3   | 安倍 幸則   | "            |
| 11 | 760-0061 | 築地町 14-1    | 築 地 小 | 校長  | 高橋 英次   | 831-7188     |
| 12 | "        | "           | "     | 4   | 福家 親夫   | "            |
| 13 | 761-8052 | 松並町 636-1   | 鶴 尾 小 | 6   | 葛西 秀樹   | 867-2564     |
| 14 | "        | "           | "     | 3   | 川田恵美子   | "            |
| 15 | 761-8071 | 伏石町 845-1   | 太 田 小 | 教頭  | 池田 孝徳   | 865-4433     |
| 16 | "        | "           | "     | 4   | 大橋けい子   | "            |
| 17 | 760-0080 | 木太町 3480-1  | 木 太 小 | 教頭  | 野島 悟    | 861-6337     |
| 18 | 761-0113 | 屋島西町 1205-1 | 屋 島 小 | 3   | 原 慎太郎   | 841-1538     |
| 19 | 761-0322 | 前田東町 819-3  | 前 田 小 | 教頭  | 山下 晃    | 847-6562     |
| 20 | 761-0450 | 三谷町 2173-1  | 三 溪 小 | 4   | 姫田 朋樹   | 889-0767     |
| 21 | 761-8078 | 仏生山町甲 2461  | 仏生山小  | 校長  | 古沢 博美   | 889-0549     |
| 22 | "        | "           | "     | 教頭  | 日下 哲也   | "            |
| 23 | "        | "           | "     | 4   | 稲田 耕一   | "            |
| 24 | 761-8084 | 一宮町 672-1   | 一 宮 小 | 校長  | 林 靖子    | 885-1764     |
| 25 | 761-8076 | 多肥上町 902-2  | 多 肥 小 | 教頭  | 森 正彦    | 889-0537     |
| 26 | 761-8042 | 御厩町 816     | 檀 紙 小 | 少人数 | 蓮本 和博   | 885-1715     |
| 27 | 761-8032 | 鶴市町 374-1   | 弦 打 小 | 6   | 池田 茂樹   | 881-3523     |
| 28 | "        | "           | "     | 教頭  | 香川 佳和   | "            |
| 29 | 761-0443 | 川島東町 864-1  | 川 島 小 | 少人数 | 宇喜多孝明   | 848-0050     |
| 30 | "        | "           | "     | 5   | 寺島 幹人   | "            |
| 31 | 761-0445 | 西植田町 2337   | 植 田 小 | 障害児 | 横井 裕子   | 849-0103     |
| 32 | 760-0079 | 松縄町 807-1   | 中 央 小 | 教頭  | 藤田 和代   | 866-2938     |
| 33 | "        | "           | "     | 6   | 向永 和資   | "            |
| 34 | 760-0080 | 木太町 1530-1  | 木太南小  | 校長  | 亀山 久嘉   | 866-7295     |
| 35 | "        | "           | "     | 内留  | 白川 由美   | "            |

|    |          |              |       |     |       |          |
|----|----------|--------------|-------|-----|-------|----------|
| 36 | 761-0111 | 屋島東町 942-1   | 屋島東小  | 5   | 蘆原 秀稔 | 843-8402 |
| 37 | 761-0113 | 屋島西町 2469    | 屋島西小  | 教頭  | 田村 秀忠 | 841-1063 |
| 38 | "        | "            | "     | 少人数 | 南原 志伸 | "        |
| 39 | "        | "            | "     | 6   | 黒川 浩一 | "        |
| 40 | "        | "            | "     | 5   | 青木 隆明 | "        |
| 41 | "        | "            | "     | 4   | 岡田 陽一 | "        |
| 42 | 760-0080 | 木太町 6 区 2613 | 木太北部小 | 教頭  | 高尾久美子 | 831-4150 |
| 43 | "        | "            | "     | 5   | 大石 桂司 | "        |
| 44 | 760-0017 | 番町 5-1-55    | 附属高松小 | 5   | 岡本 英孝 | 861-7108 |
| 45 | "        | "            | "     | 4   | 寺嶋 俊秀 | "        |
| 46 | "        | "            | "     | 1   | 亀井 健男 | "        |
| 47 | "        | "            | "     | 6   | 宮脇 充広 | "        |
| 48 | "        | "            | "     | 2   | 久利 知光 | "        |

丸亀市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地   | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|-------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 763-0033 | 中府町 5-15-1  | 城 乾 小 | 6   | 香川 久子   | 0877-22-8158 |
| 2  | 763-0051 | 今津町 348     | 城 坤 小 | 校長  | 金山 達夫   | 24-4705      |
| 3  | "        | "           | "     | 4   | 平澤 昌司   | "            |
| 4  | "        | "           | "     | 少人数 | 寒川 英樹   | "            |
| 5  | "        | "           | "     | 6   | 吉田 良三   | "            |
| 6  | "        | "           | "     | 少人数 | 佐々木美華   | "            |
| 7  | "        | "           | "     | 4   | 尾畑 良子   | "            |
| 8  | 763-0002 | 瓦町 95       | 城 北 小 | 3   | 高木 弘信   | 24-4700      |
| 9  | 763-0071 | 田村町 973     | 城 南 小 | 4   | 香川 浩子   | 24-6177      |
| 10 | "        | "           | "     | 専科  | 山野 正登   | "            |
| 11 | "        | "           | "     | 専科  | 高木 京子   | "            |
| 12 | 763-0081 | 土器町西五丁目 113 | 城 東 小 | 教頭  | 田井 敏之   | 24-4703      |
| 13 | "        | "           | "     | 6   | 合田 吉宏   | "            |
| 14 | 763-0091 | 川西町北 151    | 城 辰 小 | 6   | 増井 泰弘   | 28-7401      |
| 15 | 763-0223 | 本島町泊 18     | 本 島 小 | 支援  | 北分 英樹   | 27-3417      |
| 16 | 763-0093 | 郡家町 790-1   | 郡 家 小 | 少人数 | 池内 右典   | 28-8401      |
| 17 | 763-0086 | 飯野町西分 113   | 飯 野 小 | 6   | 近石 務    | 22-6019      |
| 18 | 763-0095 | 垂水町 1408    | 垂 水 小 | 少人数 | 旅田 敏弘   | 28-7551      |
| 19 | "        | "           | "     | 6   | 多田 明広   | "            |
| 20 | 763-0108 | 広島町小手島 2782 | 小手島小  | 1・2 | 樋口 昌樹   | 29-2751      |

## 坂出市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地  | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 762-0042 | 白金町 1-3-7  | 西 部 小 | 障害児 | 野村 亮子   | 0877-46-2149 |
| 2  | "        | "          | "     | 4   | 岡本 敏英   | "            |
| 3  | 762-0043 | 寿町 3-1-2   | 中 央 小 | 教頭  | 佐藤 孝治   | 46-2124      |
| 4  | "        | "          | "     | 障害児 | 白川 豊浩   | "            |
| 5  | "        | "          | "     | 5   | 川田 郁子   | "            |
| 6  | 762-0007 | 室町 1-1-21  | 東 部 小 | 少人数 | 吉田 和弘   | 46-0234      |
| 7  | "        | "          | "     | 5   | 真鍋 長嗣   | "            |
| 8  | 762-0033 | 谷町 3-1-23  | 金 山 小 | 6   | 丸尾ルミ子   | 46-2329      |
| 9  | 762-0012 | 林田町 2191   | 林 田 小 | 校長  | 野村 一夫   | 47-0270      |
| 10 | "        | "          | "     | 6   | 池内 智哉   | "            |
| 11 | 762-0023 | 加茂町 1099   | 加 茂 小 | 障害児 | 佐藤 和代   | 48-0601      |
| 12 | 762-0024 | 府中町 1193-3 | 府 中 小 | 3   | 香川 和美   | 48-0610      |
| 13 | "        | "          | "     | 6   | 福家 寿夫   | "            |
| 14 | 762-0025 | 川津町 3093-1 | 川 津 小 | 3   | 大西 浩史   | 46-3884      |
| 15 | "        | "          | "     | 3   | 山西由里子   | "            |
| 16 | 762-0017 | 高屋町 1050   | 松 山 小 | 4   | 田中 秀年   | 47-0606      |
| 17 | 762-0014 | 王越町木沢 211  | 王 越 小 | 教頭  | 山地 正子   | 42-0104      |
| 18 | 762-0072 | 岩黒 240     | 岩 黒 小 | 複式  | 河野 富男   | 43-0104      |

## 小豆郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|---------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 761-4106 | 土庄町甲 657-7    | 土 庄 小 | 教務  | 川井 慶太   | 0879-62-0068 |
| 2  | 761-4121 | 土庄町湊崎甲 1256   | 湊 崎 小 | 教頭  | 片山 和昭   | 62-0072      |
| 3  | "        | "             | "     | 少人数 | 香川 英樹   | "            |
| 4  | 761-4151 | 土庄町肥土山甲 1735  | 大 鐸 小 | 6   | 樋本 清和   | 62-0712      |
| 5  | 761-4143 | 土庄町見目甲 1587   | 北 浦 小 | 6   | 山田 泰二   | 65-2021      |
| 6  | 761-4131 | 土庄町伊喜末 381    | 四 海 小 | 校長  | 佐藤 正文   | 64-5051      |
| 7  | "        | "             | "     | 6   | 藤原佐代美   | "            |
| 8  | 761-4301 | 池田町池田 1760    | 池 田 小 | 教頭  | 亀井 伸治   | 75-2222      |
| 9  | "        | "             | "     | 6   | 港 貴康    | "            |
| 10 | 761-4432 | 内海町草壁本町 632-1 | 星 城 小 | 6   | 河田 祥司   | 82-2011      |
| 11 | 761-4411 | 内海町安田甲 472-1  | 安 田 小 | 教務  | 役重 和雅   | 82-2012      |
| 12 | "        | "             | "     | 支援  | 瀬名 宏樹   | "            |
| 13 | 761-4421 | 内海町苗羽甲 1371-1 | 苗 羽 小 | 5   | 日下ゆかり   | 82-2013      |

## さぬき・東かがわ市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地       | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学 校 電 話      |
|----|----------|-----------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 769-2903 | 東・南野 204-1      | 相 生 小 | 校長  | 三井 重彰   | 0879-33-3627 |
| 2  | "        | "               | "     | 4   | 白澤 一修   | "            |
| 3  | 769-2715 | 東・五名 1400       | 五 名 小 | 校長  | 寺田 文久   | 29-2003      |
| 4  | 769-2601 | 東・三本松 862-1     | 三本松小  | 内留  | 六車 浩    | 25-2664      |
| 5  | 769-2605 | 東・中筋 425        | 誉 水 小 | 支援  | 高田 宏隆   | 25-2044      |
| 6  | 769-2615 | 東・町田 126-1      | 丹 生 小 | 教頭  | 六車 功    | 25-3504      |
| 7  | 761-0904 | さ・大川町田面 125     | 松 尾 小 | 校長  | 竹田 具治   | 43-3016      |
| 8  | "        | "               | "     | 3   | 古澤 哲夫   | "            |
| 9  | 761-0901 | さ・大川町富田西 2595-2 | 富 田 小 | 教頭  | 廣瀬 強    | 43-2016      |
| 10 | "        | "               | "     | 3   | 山下 勝正   | "            |
| 11 | "        | "               | "     | 少人数 | 橋本 義人   | "            |
| 12 | 769-2321 | さ・寒川町石田東甲 425   | 石 田 小 | 教頭  | 穴吹 眞二   | 43-2006      |
| 13 | "        | "               | "     | 2   | 杉本 佳子   | "            |
| 14 | 769-2312 | さ・造田是弘 688-1    | 造 田 小 | 校長  | 熊田 正美   | 52-2141      |
| 15 | "        | "               | "     | 4   | 窪田 史子   | "            |
| 16 | 769-2301 | さ・長尾東 901-1     | 長 尾 小 | 校長  | 八木 育夫   | 52-3181      |
| 17 | "        | "               | "     | 6   | 沖 肅二    | "            |
| 18 | "        | "               | "     | 支援  | 大高 哲也   | "            |
| 19 | "        | "               | "     | 内留  | 永坂 邦彦   | "            |
| 20 | 769-2306 | さ・多和助光東 30-1    | 多 和 小 | 6   | 濱松 春水   | 56-2002      |
| 21 | 769-2101 | さ・志度 727        | 志 度 小 | 校長  | 徳田二三男   | 087-894-0041 |
| 22 | "        | "               | "     | 6   | 和田 千幸   | "            |
| 23 | "        | "               | "     | 2   | 野口 幸嗣   | "            |
| 24 | 769-2103 | さ・小田 1741       | 小 田 小 | 校長  | 小倉 健治   | 896-0066     |
| 25 | "        | "               | "     | 6   | 梅本 明宏   | "            |
| 26 | 769-2401 | さ・津田町津田 144     | 津 田 小 | 5   | 松村 和仁   | 0879-42-2047 |
| 27 | "        | "               | "     | 2   | 中野美砂子   | "            |

## 木田郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地    | 学 校 名 | 学年 | 会 員 氏 名 | 学 校 電 話      |
|----|----------|--------------|-------|----|---------|--------------|
| 1  | 761-0702 | 三木町平木 710-1  | 平 井 小 | 校長 | 藤原 政志   | 087-898-0713 |
| 2  | "        | "            | "     | 6  | 前田 宏之   | "            |
| 3  | "        | "            | "     | 4  | 森口 英樹   | "            |
| 4  | "        | "            | "     | 4  | 益田 隆子   | "            |
| 5  | "        | "            | "     | 4  | 筒井みゆき   | "            |
| 6  | 761-0611 | 三木町田中 4620-2 | 田 中 小 | 3  | 十河 幸雄   | 898-0501     |
| 7  | 761-0615 | 三木町小蓑 1351-1 | 小 蓑 小 | 教頭 | 陶山 真司   | 899-1023     |
| 8  | 761-0612 | 三木町氷上 2845   | 氷 上 小 | 6  | 間島 大輔   | 898-0710     |

|    |          |              |       |     |       |          |
|----|----------|--------------|-------|-----|-------|----------|
| 9  | 761-0704 | 三木町下高岡 352-1 | 白 山 小 | 支援  | 小笠原 学 | 898-0257 |
| 10 | "        | "            | "     | 3   | 高重 淳  | "        |
| 11 | 761-0122 | 牟礼町大町 1560   | 牟 礼 小 | 3   | 吉原 浩二 | 845-9239 |
| 12 | 761-0121 | 牟礼町牟礼 2900-1 | 牟礼北小  | 5・6 | 泉 聡   | 845-5742 |
| 13 | "        | "            | "     | 3   | 徳住 利弘 | "        |
| 14 | 761-0122 | 牟礼町大町 1115-1 | 牟礼南小  | 3   | 多田恵美子 | 845-9324 |
| 15 | 761-0130 | 庵治町 790-1    | 庵 治 小 | 4   | 佐々 和美 | 871-2581 |

香川郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地     | 学 校 名 | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|---------------|-------|----|---------|--------------|
| 1  | 761-1612 | 塩江町安原上東 365   | 塩 江 小 | 6  | 喜岡 永光   | 087-893-0027 |
| 2  | 761-1701 | 香川町大野 1045-1  | 大 野 小 | 教頭 | 藤本 一郎   | 885-2165     |
| 3  | "        | "             | "     | 6  | 黒川久美子   | "            |
| 4  | "        | "             | "     | 4  | 高尾 優子   | "            |
| 5  | 761-1703 | 香川町浅野 3088    | 浅 野 小 | 5  | 小原 敏昭   | 889-0215     |
| 6  | "        | "             | "     | 4  | 黒田 拓志   | "            |
| 7  | "        | "             | "     | 3  | 川村 千寿   | "            |
| 8  | "        | "             | "     | 5  | 仁科 大成   | "            |
| 9  | 761-1706 | 香川町川東上 1865-8 | 川 東 小 | 6  | 野土 裕彦   | 879-2012     |
| 10 | "        | "             | "     | 4  | 田岡 直樹   | "            |
| 11 | "        | "             | "     | 3  | 大森 芳紀   | "            |
| 12 | 761-1404 | 香南町横井 1008    | 香 南 小 | 3  | 森 智子    | 879-2269     |
| 13 | "        | "             | "     | 6  | 岡 佳代    | "            |
| 14 | 761-3110 | 直島町 1600      | 直 島 小 | 校長 | 鴨井 俊徳   | 892-3007     |
| 15 | "        | "             | "     | 5  | 島村佳寿美   | "            |

綾歌郡

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地    | 学 校 名  | 学年 | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|--------------|--------|----|---------|--------------|
| 1  | 761-2202 | 綾上町粉所西甲 2060 | 粉 所 小  | 5  | 岡 朝子    | 087-878-2312 |
| 2  | 761-2207 | 綾上町羽床上 788-1 | 羽床上小   | 4  | 宮武 克明   | 878-0820     |
| 3  | 761-2101 | 綾南町畑田 2381   | 昭 和 小  | 6  | 前田 昌子   | 877-0519     |
| 4  | 761-2103 | 綾南町陶 5878    | 陶 小    | 1  | 平野希代子   | 876-1182     |
| 5  | "        | "            | "      | 4  | 藤田 順也   | "            |
| 6  | 761-2305 | 綾南町滝宮 1100   | 滝 宮 小  | 4  | 小谷 修    | 876-1183     |
| 7  | "        | "            | "      | 5  | 有岡 俊文   | "            |
| 8  | 769-0101 | 国分寺町新居 1880  | 国分寺北部小 | 校長 | 山崎 敏和   | 874-1154     |
| 9  | "        | "            | "      | 6  | 西尾 由加   | "            |
| 10 | "        | "            | "      | 6  | 高吉 直之   | "            |
| 11 | "        | "            | "      | 4  | 青木 弥生   | "            |



|    |          |              |        |    |       |              |
|----|----------|--------------|--------|----|-------|--------------|
| 12 | 769-0103 | 国分寺町福家甲 3005 | 国分寺南部小 | 教頭 | 田中 直樹 | 874-1160     |
| 13 | "        | "            | "      | 3  | 早瀬 良子 | "            |
| 14 | "        | "            | "      | 5  | 須田美佐子 | "            |
| 15 | "        | "            | "      | 6  | 大高 浩一 | "            |
| 16 | 761-2407 | 綾歌町富熊 1227   | 富熊小    | 校長 | 松下 繁美 | 0877-86-2010 |
| 17 | "        | "            | "      | 3  | 宇山 知昌 | "            |
| 18 | "        | "            | "      | 5  | 馬場 直明 | "            |
| 19 | 761-2402 | 綾歌町岡田下 217   | 岡田小    | 4  | 徳永 桂子 | 86-3004      |
| 20 | "        | "            | "      | 6  | 林 聖士  | "            |
| 21 | "        | "            | "      | 5  | 末澤 康彦 | "            |
| 22 | 762-0084 | 飯山町上法軍寺 1206 | 飯山南小   | 5  | 出濱 大資 | 98-2024      |
| 23 | "        | "            | "      | 4  | 豊浦 辰司 | "            |
| 24 | 769-0210 | 宇多津町 815     | 宇多津小   | 5  | 勝田 健彦 | 49-1820      |
| 25 | 769-0208 | 宇多津町浜八番丁 115 | 宇多津北小  | 教頭 | 平井 勉  | 49-2000      |
| 26 | "        | "            | "      | 3  | 中川 峰子 | "            |

仲多度郡・善通寺市

| 番号 | 郵便番号     | 学校所在地          | 学校名  | 学年  | 会員氏名  | 学校電話         |
|----|----------|----------------|------|-----|-------|--------------|
| 1  | 766-0021 | 満濃町四條 728      | 四條小  | 5   | 森井 信一 | 0877-73-5514 |
| 2  | 766-0023 | 満濃町吉野 74       | 満濃南小 | 校長  | 山下 清明 | 79-2110      |
| 3  | "        | "              | "    | 教頭  | 花房 長広 | "            |
| 4  | 766-0017 | 満濃町炭所西 1431-2  | 長炭小  | 教頭  | 森本 義臣 | 79-2006      |
| 5  | 769-0303 | 仲南町七箇 2529     | 仲南東小 | 6   | 川田 真司 | 77-2140      |
| 6  | 769-0312 | 仲南町十郷字宮田 750-4 | 仲南北小 | 教頭  | 水卜 由文 | 75-4032      |
| 7  | 766-0004 | 琴平町榎井 58-3     | 榎井小  | 6   | 山内 秀則 | 73-2494      |
| 8  | 766-0006 | 琴平町上櫛梨 26      | 象郷小  | 校長  | 三井 尚  | 73-2830      |
| 9  | 764-0032 | 多度津町三井 433-1   | 四箇小  | 6   | 坂倉 徹  | 32-2517      |
| 10 | 765-0013 | 善・文京町 4-5-1    | 中央小  | 5・6 | 岸上也寸志 | 62-1616      |
| 11 | 765-0053 | 善・生野町 2990-1   | 南部小  | 校長  | 岡根 淳二 | 62-0702      |
| 12 | "        | "              | "    | 3   | 藤本 博文 | "            |
| 13 | 765-0022 | 善・稲木町 450-1    | 東部小  | 6   | 森 昭二  | 62-0703      |
| 14 | "        | "              | "    | 3   | 豊田 恭子 | "            |
| 15 | 765-0040 | 善・与北町 1238     | 与北小  | 5・6 | 高橋 義徳 | 62-0704      |
| 16 | 765-0032 | 善・原田町 306-1    | 竜川小  | 校長  | 唐木 裕志 | 62-0705      |
| 17 | "        | "              | "    | 3   | 四宮 美佐 | "            |
| 18 | 765-0061 | 善・吉原町 2811     | 吉原小  | 3   | 真部ひとみ | 62-0707      |

三豊郡・観音寺市

| 番号 | 郵便番号     | 学 校 所 在 地      | 学 校 名 | 学年  | 会 員 氏 名 | 学校電話         |
|----|----------|----------------|-------|-----|---------|--------------|
| 1  | 769-1621 | 大野原町五郷井関 311   | 五 郷 小 | 教頭  | 安藤 清和   | 0875-54-2803 |
| 2  | 769-1611 | 大野原町大野原 1905   | 大野原小  | 教頭  | 福岡 和信   | 54-2029      |
| 3  | "        | "              | "     | 4   | 高橋 克佳   | "            |
| 4  | 769-1602 | 豊浜町和田浜 1000    | 豊 浜 小 | 教頭  | 平川 博    | 52-2029      |
| 5  | "        | "              | "     | 6   | 村上 輝司   | "            |
| 6  | "        | "              | "     | 5   | 渡部 岳史   | "            |
| 7  | 768-0102 | 山本町大野 457-1    | 大 野 小 | 校長  | 田井 秀典   | 63-2009      |
| 8  | 769-0401 | 財田町財田上 726     | 財田上小  | 校長  | 西谷 則一   | 67-2005      |
| 9  | 767-0021 | 高瀬町佐股甲 1497-1  | 二ノ宮小  | 5   | 國土 英二   | 74-6302      |
| 10 | 767-0032 | 三野町下高瀬 760     | 下高瀬小  | 5   | 安藤 雅慶   | 72-5401      |
| 11 | 767-0031 | 三野町大見甲 3034-4  | 大 見 小 | 校長  | 前田 高次   | 72-5402      |
| 12 | 769-1104 | 詫間町大浜甲 1633-1  | 大 浜 小 | 4   | 秋元 一秀   | 84-7359      |
| 13 | 768-0060 | 観・観音寺町甲 1186-2 | 観音寺南小 | 校長  | 各務 清    | 25-4675      |
| 14 | "        | "              | "     | 教頭  | 柴田 英明   | "            |
| 15 | "        | "              | "     | 5   | 合田 雅気   | "            |
| 16 | "        | "              | "     | 専科  | 深川 隆    | "            |
| 17 | 768-0060 | 観・観音寺町甲 670-2  | 観音寺東小 | 4   | 安藤 通    | 25-2219      |
| 18 | "        | "              | "     | 6   | 萬亀 弘吉   | "            |
| 19 | 768-0071 | 観・伊吹町 309      | 伊 吹 小 | 3・4 | 篠原 正議   | 29-2103      |
| 20 | 768-0040 | 観・柞田町乙 1000-1  | 柞 田 小 | 6   | 轟 秀明    | 25-3621      |

